



破断の絆

寝取られた義妹

177P

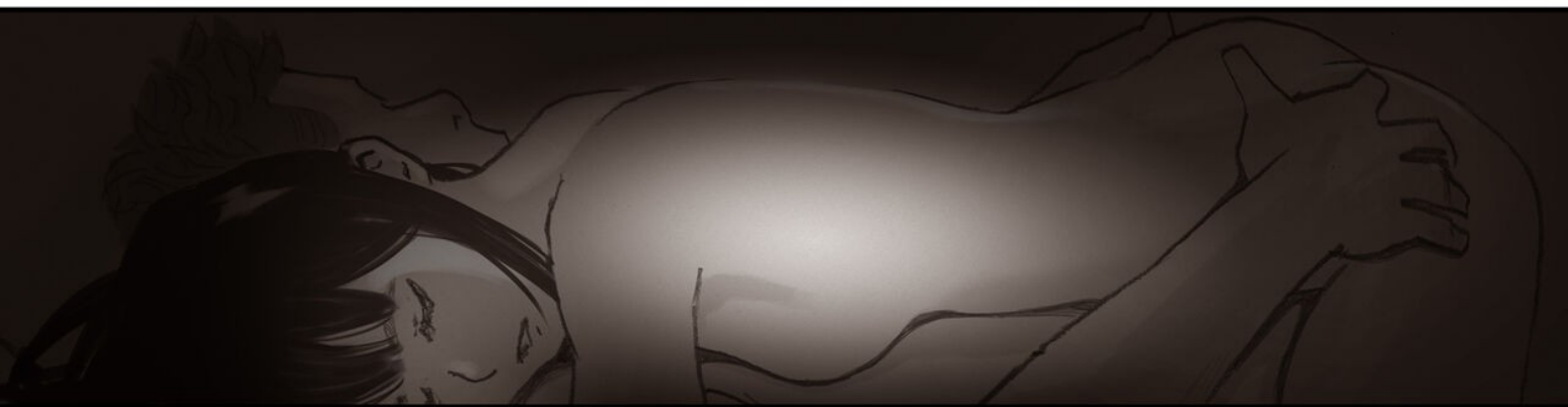
R18

猫目 恋



冬の到来を告げる
初雪が

道端に静かに
降り積もる時に…



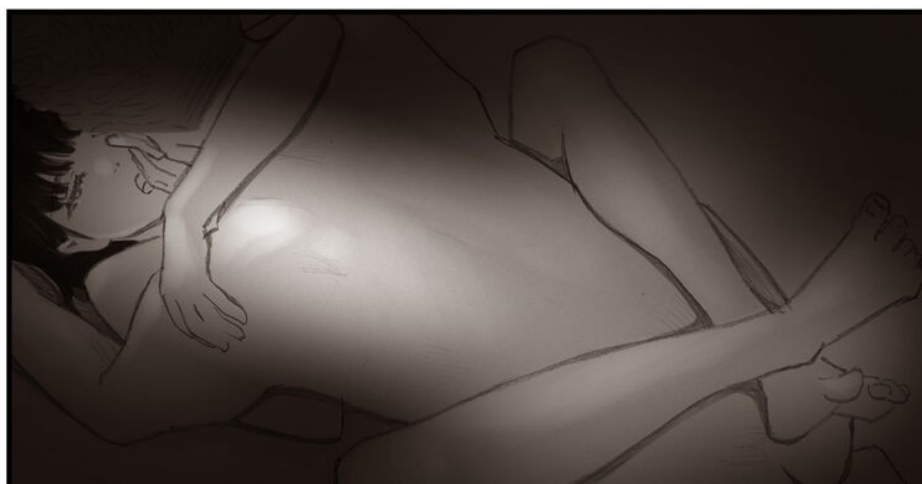
あおば
青葉
後片付け
やっておけ

はい

夏の暑さがわずかに
やわらぐ夕暮れ時に…



帰省の許可は出すけどさ
忙しいんだから
さっさと戻ってこいよ

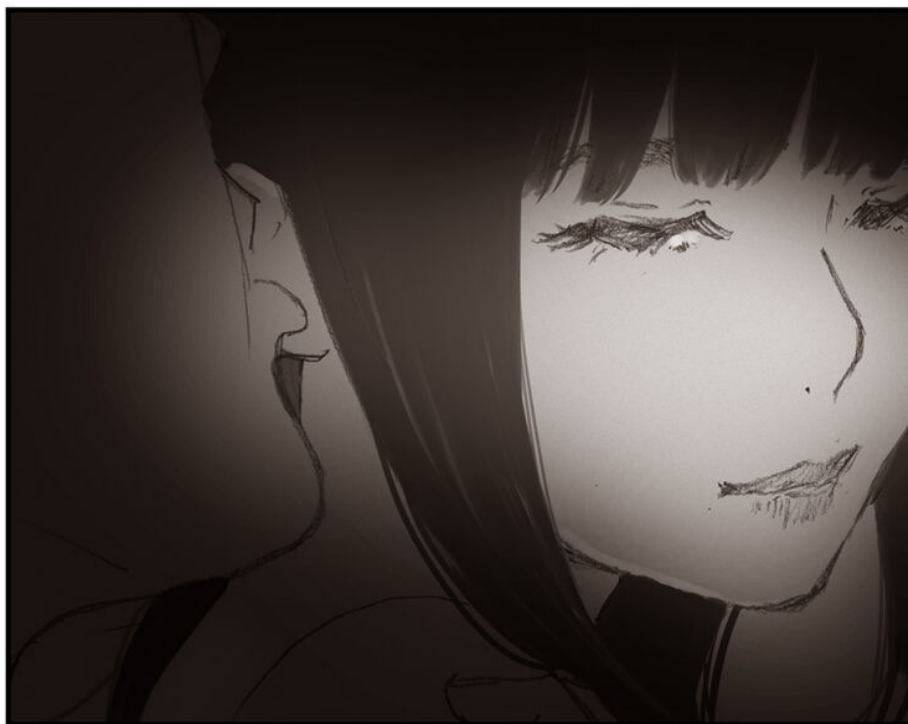




ふとあの頃の
思い出がよみがえる
ことがある

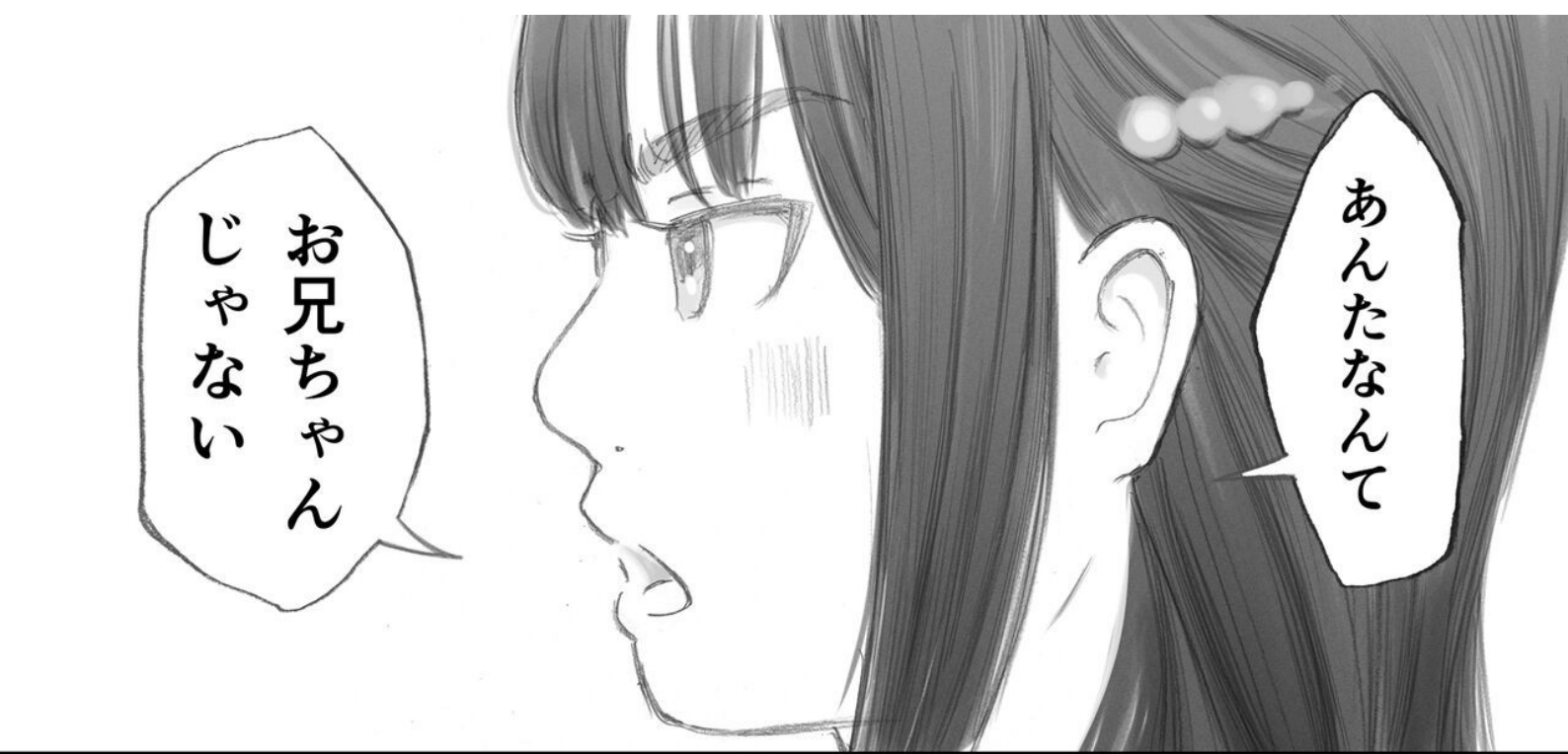


そんな時
僕は問わずには
いられない



どうして僕たちは
大切なものを守ろうと
すればするほど

それを失っていく
のだろうか、と



あんたなんて

お兄ちゃん
じゃない



ぜったい
ぜったい

みとめない
から!!

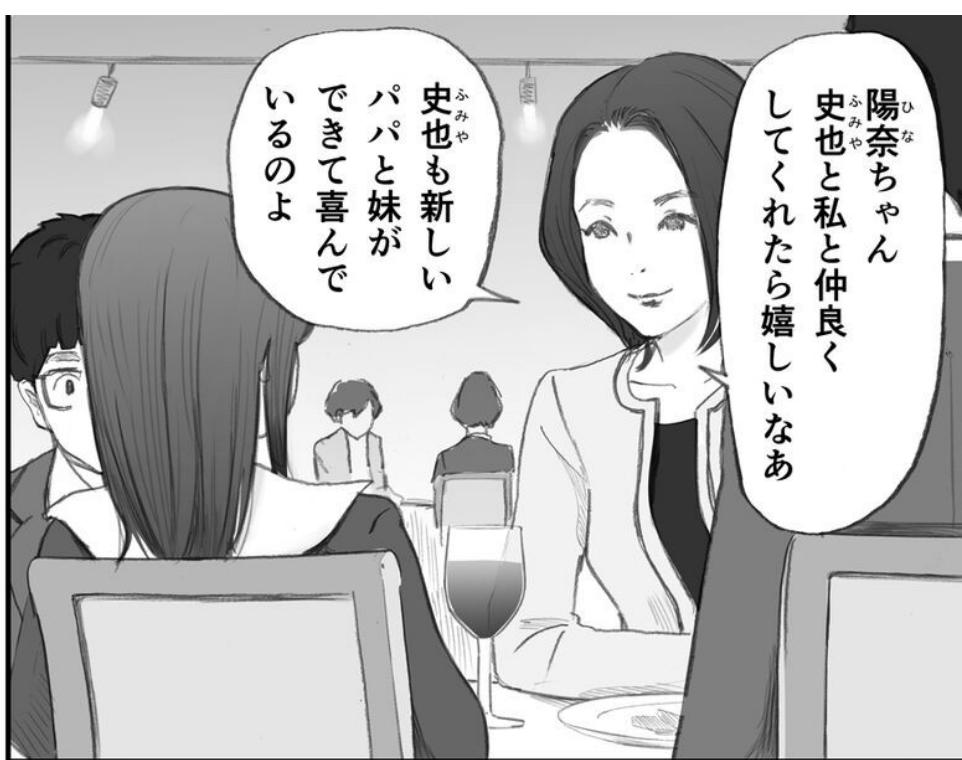


ちがうもん



陽奈^{ひな}新しい家族
なんだから
仲良くしなさい

史也^{ふみや}くん
すまないね
陽奈^{ひな}はびっくり
してるだけだ
と思うよ







一年後に交通事故で
義父が他界し…

陽奈のささやくような
独り言が聞こえたときも

これから…

どこがわたしの
おうちなの…

僕は何と言葉をかけて
よいかわからなかった

破断の絆

ハダンノキズナ

猫目 恋



3年-A

ガラス

お兄ちゃん！

大学の推薦合格
したんだって!?

あ陽奈^{ひな}

妹さん
じゃん







きょうだい
兄妹でイチヤイチヤ
気持ちわりいんだよ

おまえらさあ
夜はチンポと
マンコしゃぶり
あってんだろ

ひな
陽奈ちゃん
可愛いもんねえ
あおぼ
青葉がそういうこと
してもしかたないよ



ひな
陽奈でも感じて
ひいひい声を
あげてるのか？



しづさわこうき
こいつは渋沢剛輝
資産家の息子ですぐに
金をちらつかせて自慢
するようなヤツだ









わたしのお兄ちゃん
を侮辱する^{ぶじよく}ことは

許さない

それに律子^{りっこ}
わたしはあんた
とは違うから

下劣なあんたが
マネできるのは
しょせんあんた
自身でしょ

なっ…

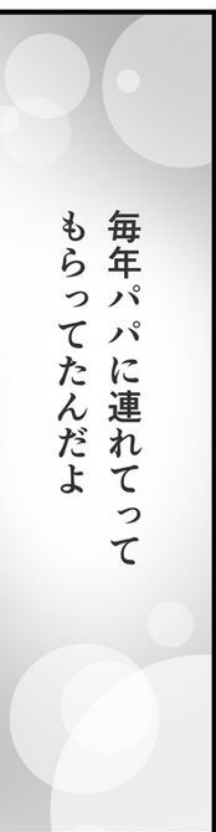
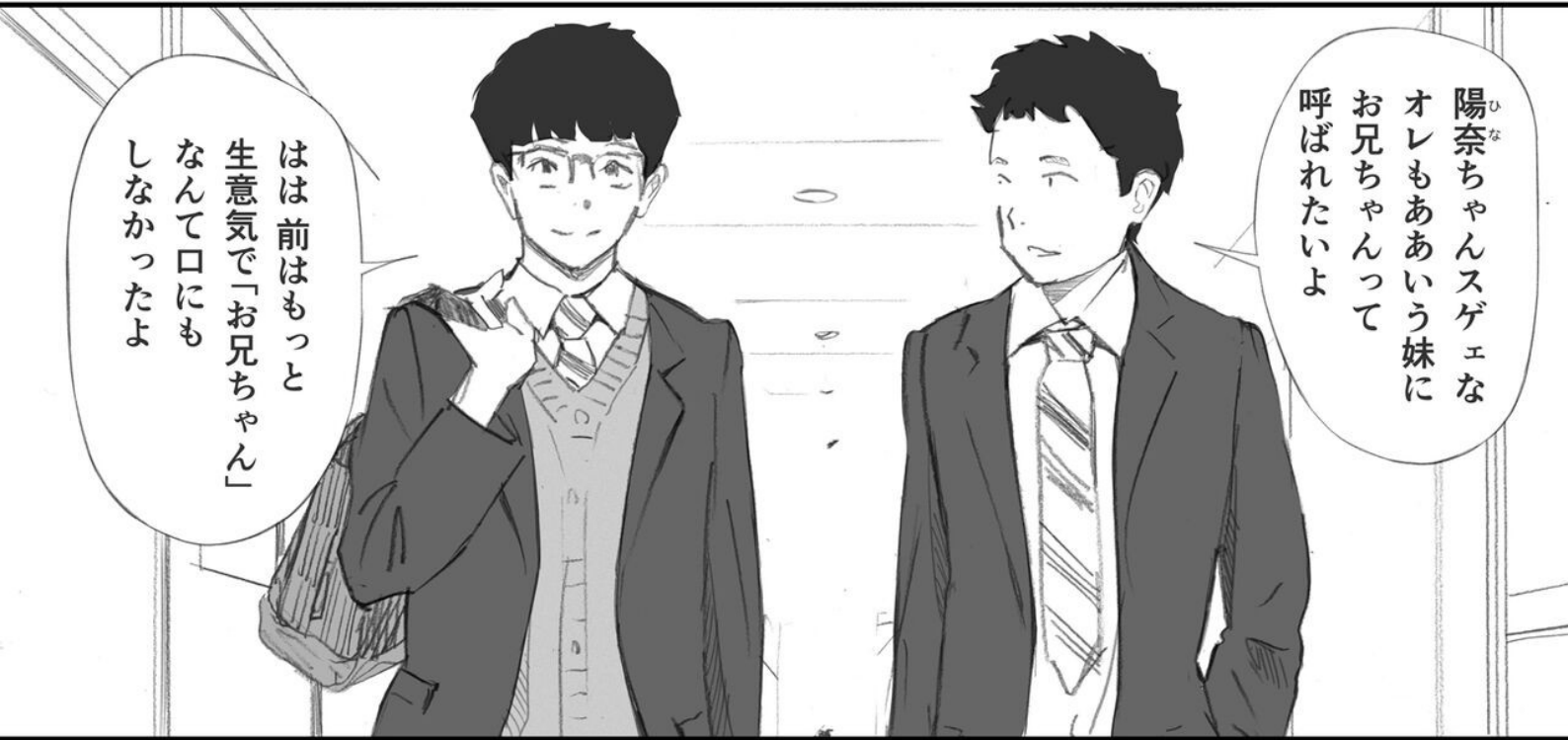
あたしが下劣だって
いうの？

このアマ
言わせておけば…

何を騒いで
るんだ？

授業だぞ

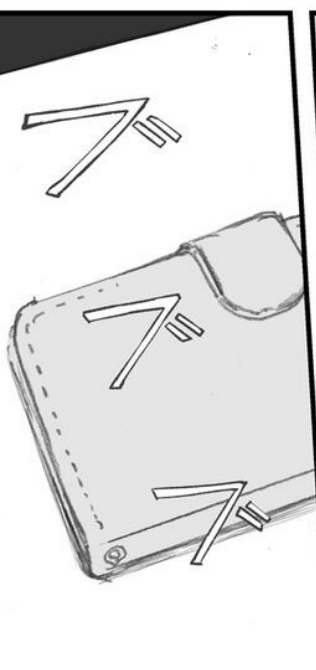
みんな席
につけ！



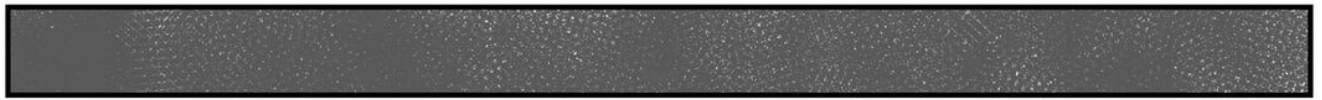




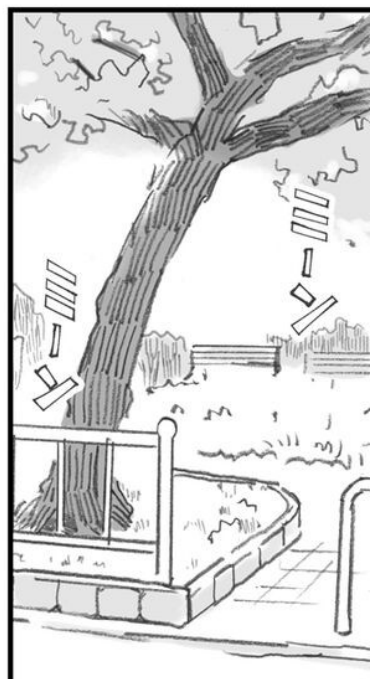
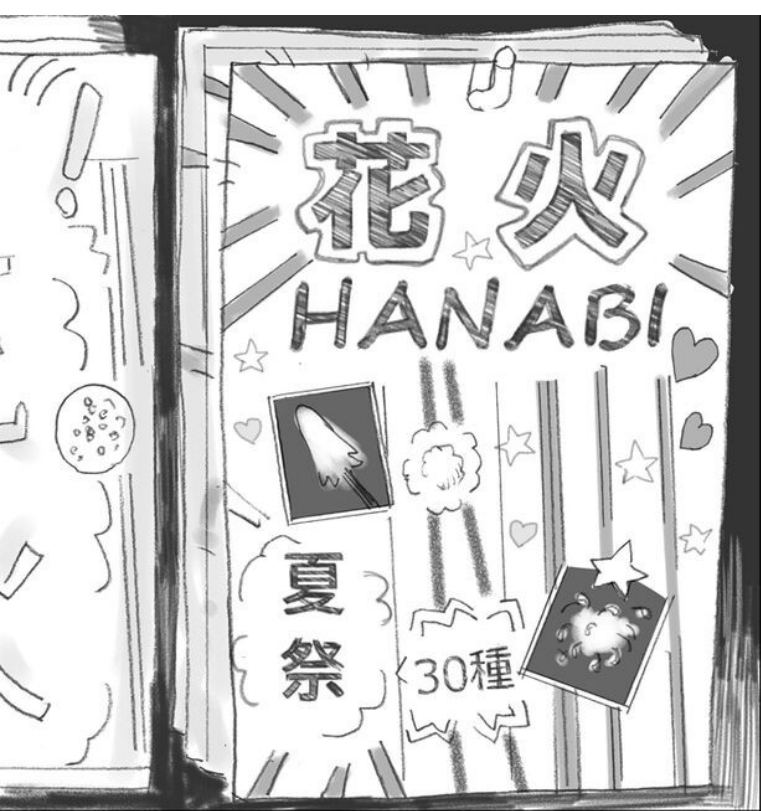


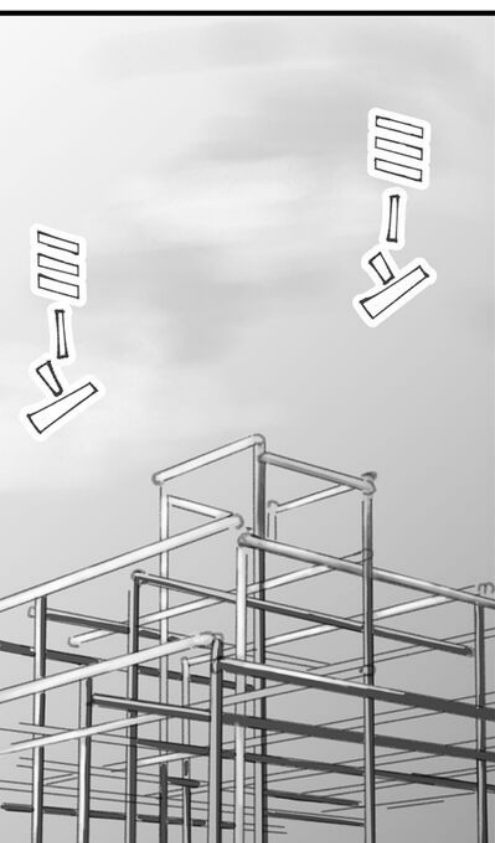
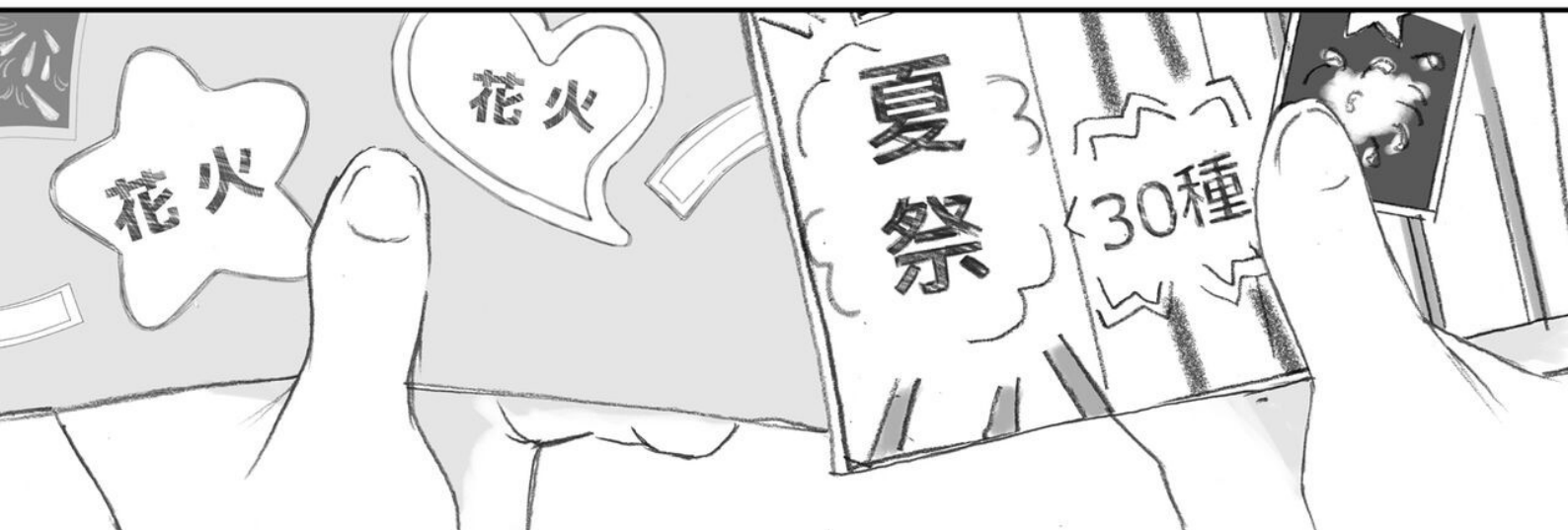


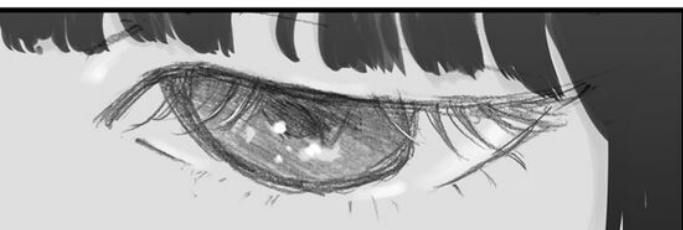
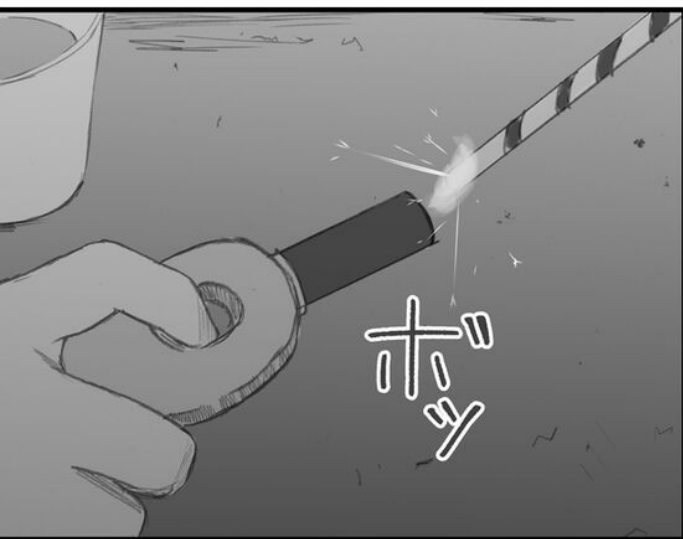










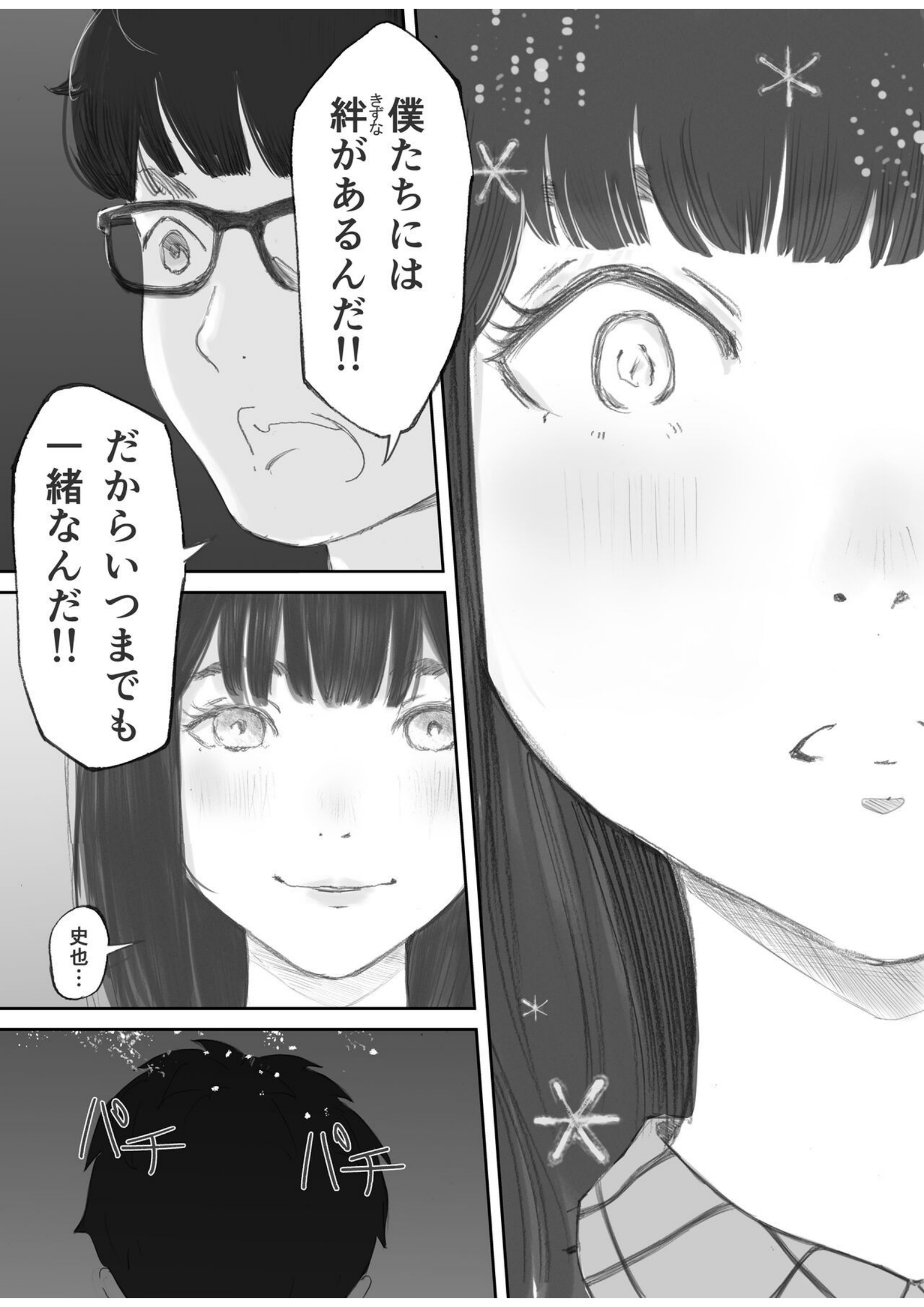






陽奈^{ひな}は

僕たちとずっと
一緒だから!!

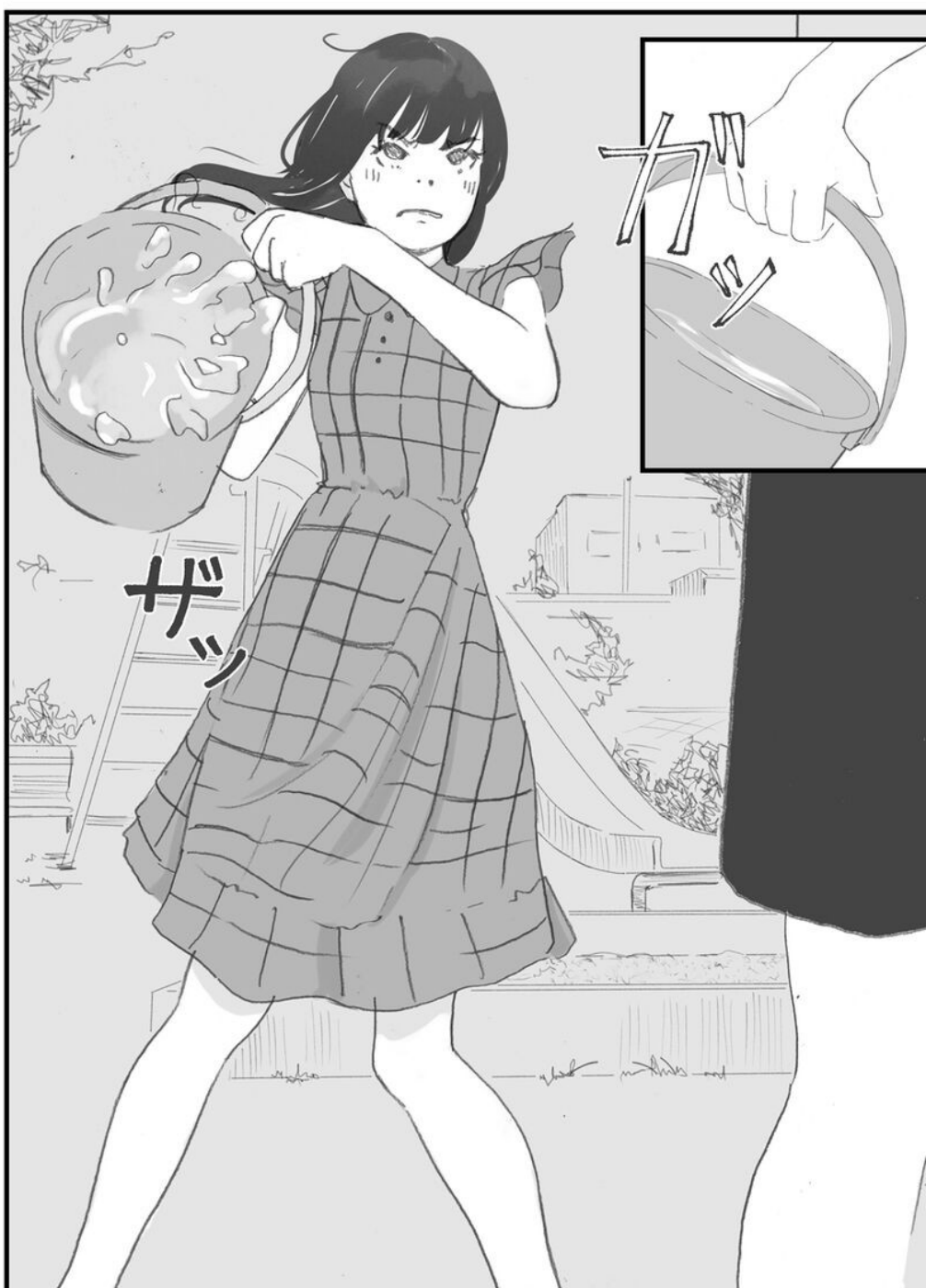


僕たちには
きずな
絆があるんだ!!

だからいつまでも
一緒なんだ!!

史也…

ハチ ハチ





お兄ちゃん！

バカじゃないの!?



でも…

ぷぷぷ



ズ
ズ
ビチヨビチヨになっちゃった

早く帰って
着替えよ?

ボタ

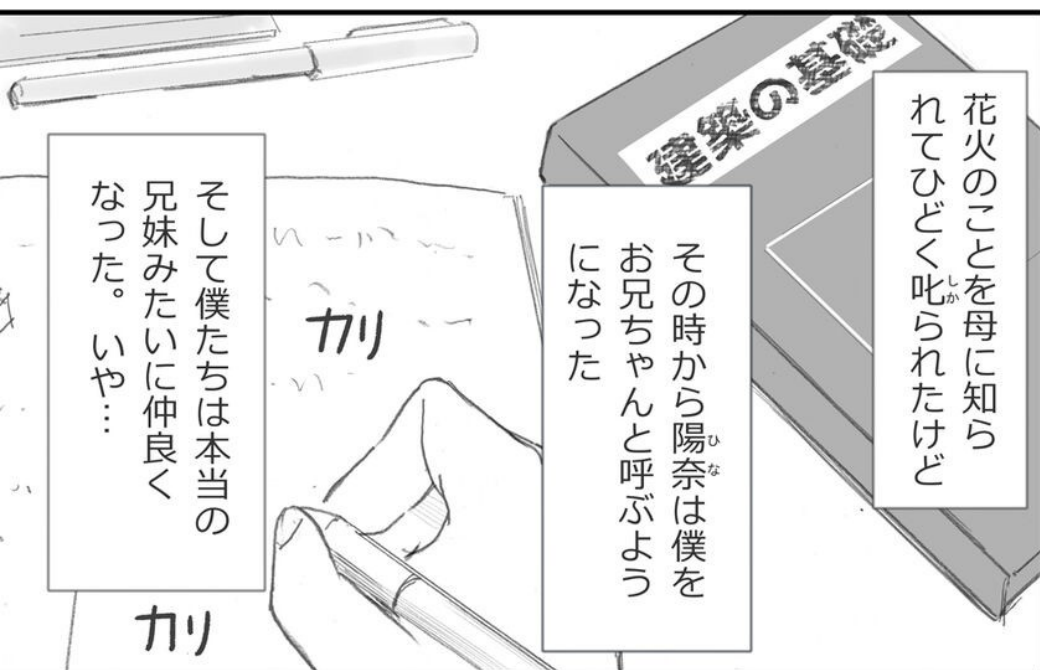
ボタ



もうっ

ドボボ

髪の毛丸こげになっちゃうじゃん





冷たいこと
言うなよ

ついでに陽奈が
欲しいもの
なんでも
プレゼント
してやる

お前んとこ
母子家庭で
大変だろ

オレ おやじからもう
数百万の金の運用
任されてんだよ

陽奈の力に
なってやるよ

あんたは



やがて秋は
あわただしく去り

町は見慣れた
雪景色に
変わっていった

サ
ッ

サ
ッ

サ
ッ

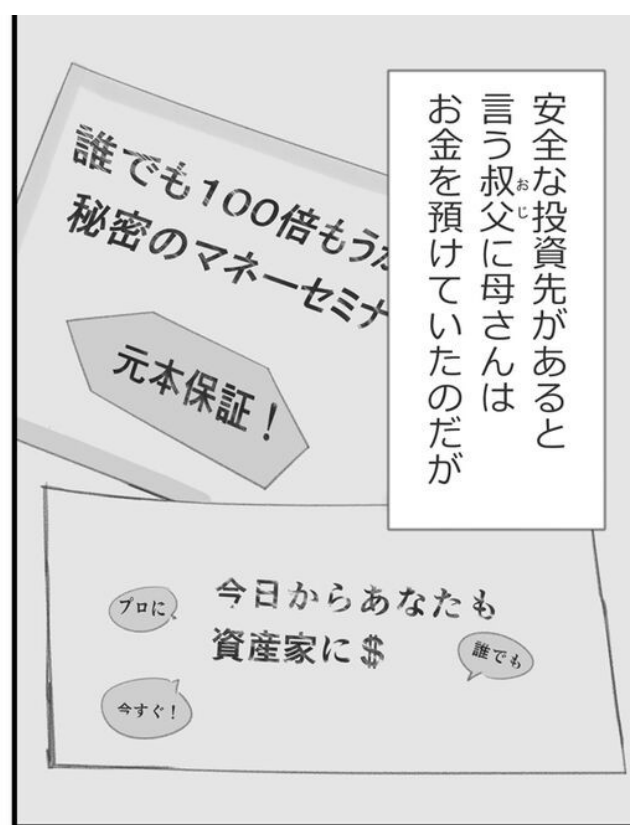
その頃の陽奈^{ひな}は
どういうわけかいつも
の明るさを失い…

沈んだ表情を見せる
ようになっていた…

母さんと陽奈^{ひな}と
離れて暮らすの
は初めてだな

あと二か月もしたら
一人暮らしかあ







一緒に暮らして
いける!!

そうすれば
今までと同じ
ように



地元だって
建築の専門学校
があるし...

地元の会社に
就職だって
できるよ?

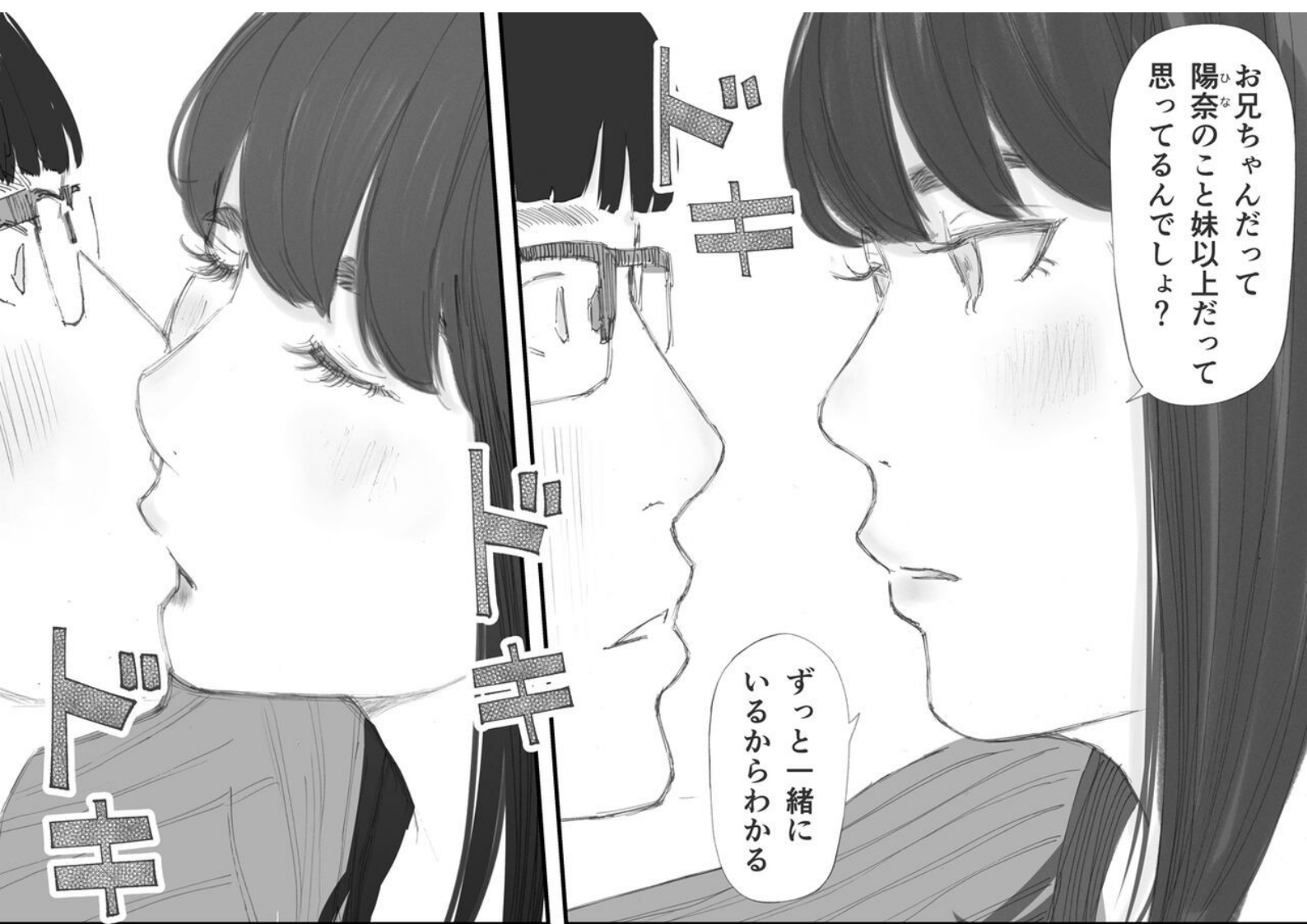


もっともっと
大切な人でも
あるんだよ



陽奈^{ひな}にとって
お兄ちゃんはお兄ちゃん
お兄ちゃんだけど...

それだけじゃないの



お兄ちゃんだって
陽奈^{ひな}のこと妹以上だって
思ってるんでしょ？

ずっと一緒に
いるからわかる

ドギ

ドギ

ドギ



僕だって…
陽奈^{ひな}を…

どこがわたしの
おうちなの…

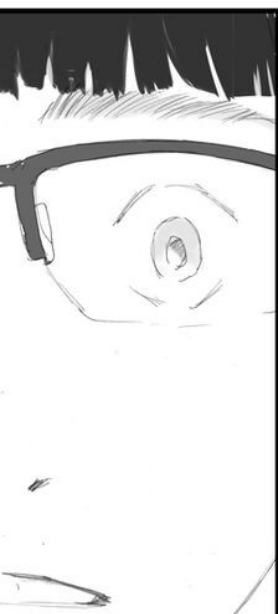
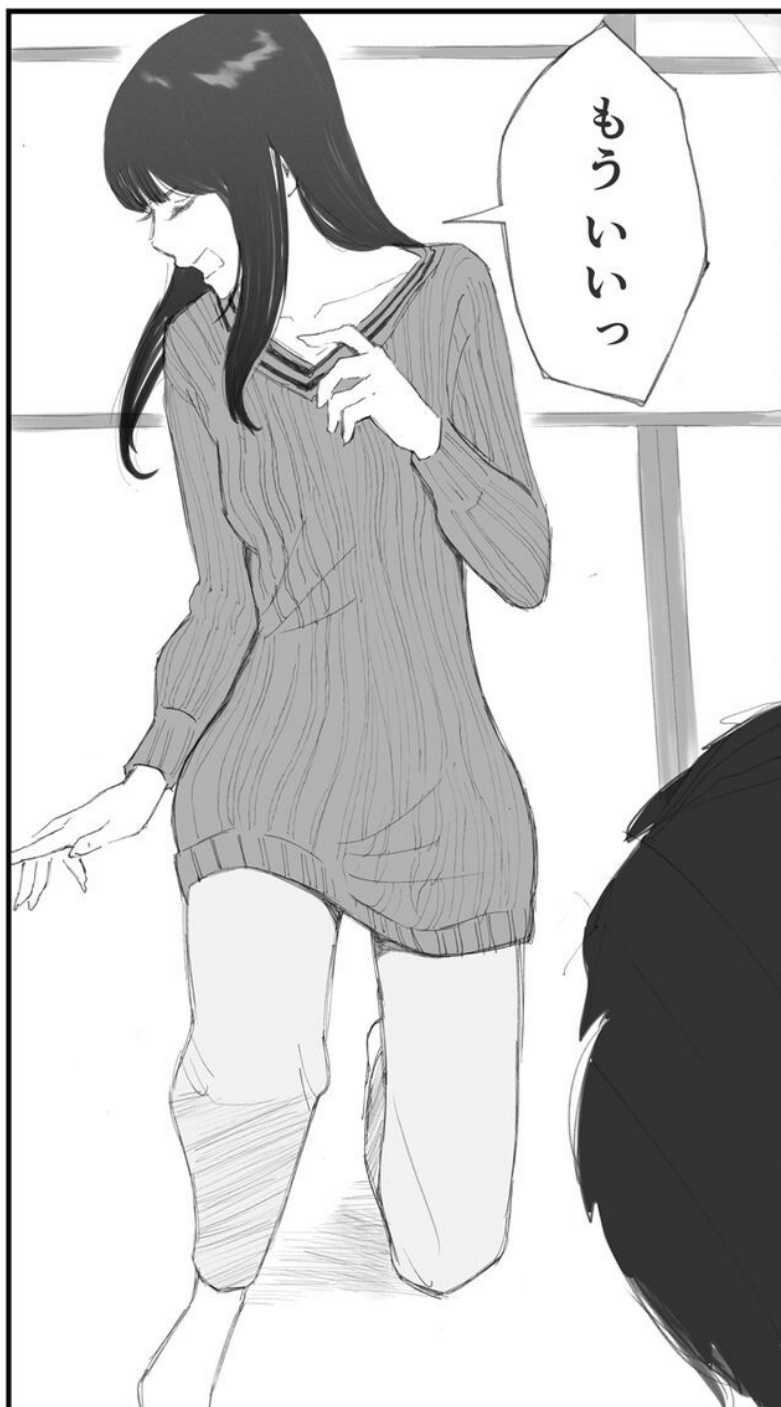
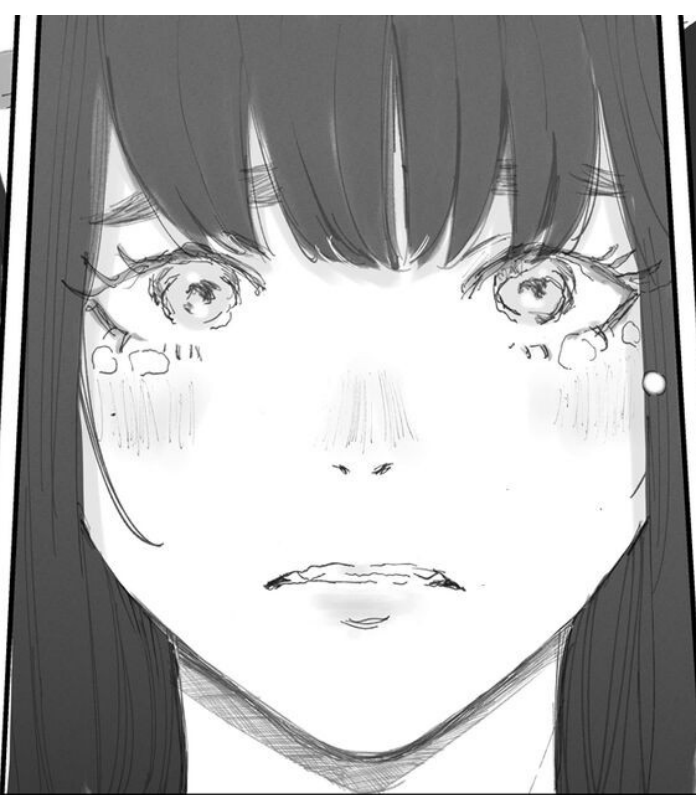


でも…

グッ

やっぱり…







でも今はそれを言えない…
今はここだけが陽奈の
居場所なんだ…



確かに僕にとっても
陽奈はたんなる
妹ではなくなっている…



今は言えない…

そしてもし僕たちが
破綻してしまったら…



もし感情に突き動かされる
ままに僕と陽奈が一線を
越えてしまったら…



陽奈？



陽奈のこの居場所を
絶対守らなきゃ…

二人が大人になったら
僕も同じ気持ちだって
陽奈に伝えればいい…



そういえば…

ここでお兄ちゃんは
髪の毛を焦がして
いたっけ…

あの時はお兄ちゃんの
気持ちがまっすぐ
わたしに入ってくる
気がした

考えてみれば
お兄ちゃんはいつも
わたしを見守ってくれて
いた気がする…

うう

ぐす…



わたしの気持ちを押し付け
るばかりで…
お兄ちゃんが大学いけな
くなりそうなのに

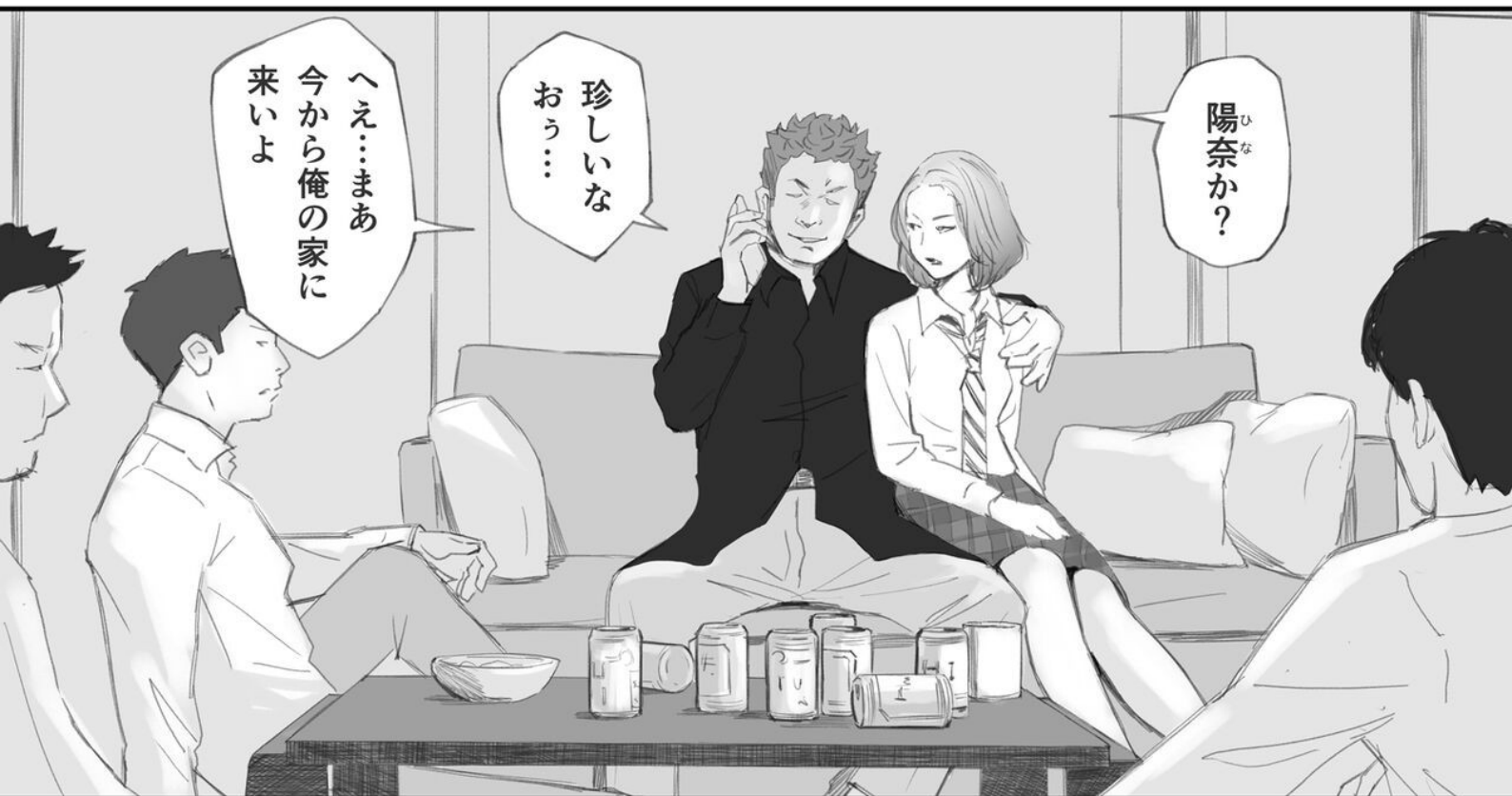
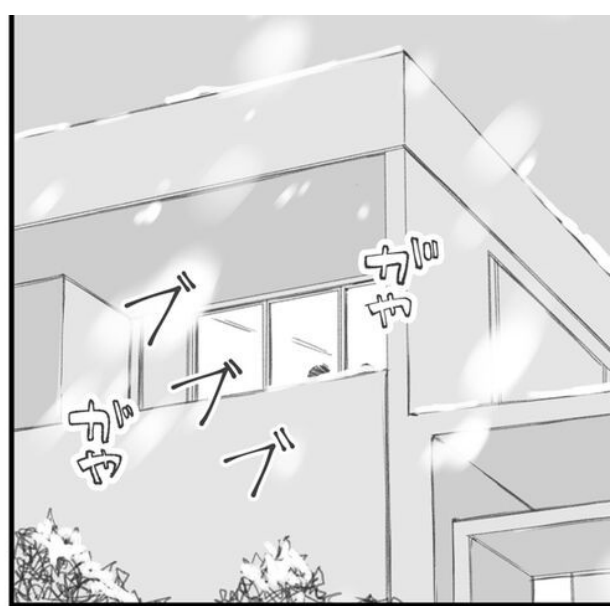
それを喜ん
でいたんだ…

でも何とかしてあげよう
としてもわたしには
何もできない…

わたしはなんて
ずるいんだろう

そして…なんて
無力なんだろう







いない…

陽奈…どこなんだ!?

こりや珍しい
客だな

どうし
たんだ?

カチャ

あんた以前
言ってたこと
本気?

本気だったらお願い
したいことがあるの



わかった



じゃあそこで
全裸になれ

そして両手を
上げてみる



こんなこと
なんてことはない



わたしの何かが変わる
わけじゃない





もっと大変なこと
だって経験してる

何かを失う
わけじゃない

おいおい
まさかこんな
チャンスが
くるとはな

へー
性格と違って
ビッチっぽい
体だな

こっちむいて
ケツ突き出せ



いい眺め
だな

ケツの穴まで
丸見えだぞ

これ…たまんねえな
極上モノだろ
何とか逃げられない
ようにしてやる



陽奈…
どこに行ったんだ…



そういえば
オレのこと
貧しいとか
ぬかしてたよな



ビュ
ウウ



肌も透き通る
みたいな白さ
じゃねえか



貧しい男に
マンコとケツ穴
さらして金を
せびるのは
どういう気持ちだ？

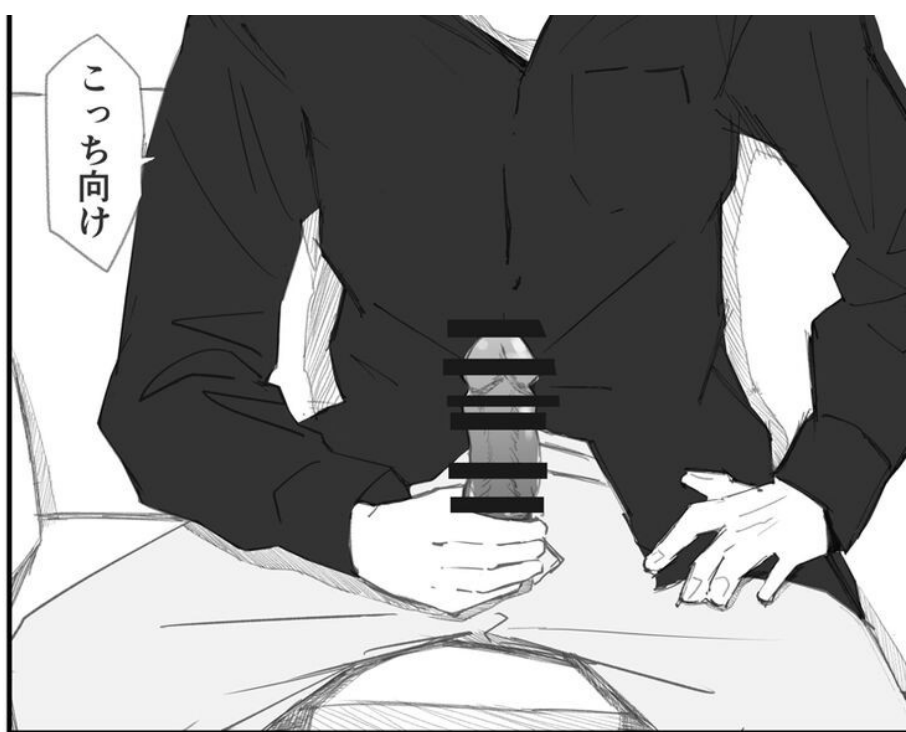


陽奈 今どこ？

別に



しゃぶれ



こっち向け



なに固まってるんだよ
はは こんなデカイの
見るの初めてか?



何これ…
こんな風にな
るものなの?



やべえ たまんねえ
陽奈がオレのチンポしゃぶってるって
マジかよ、これ!



ていねいに
しゃぶれよ



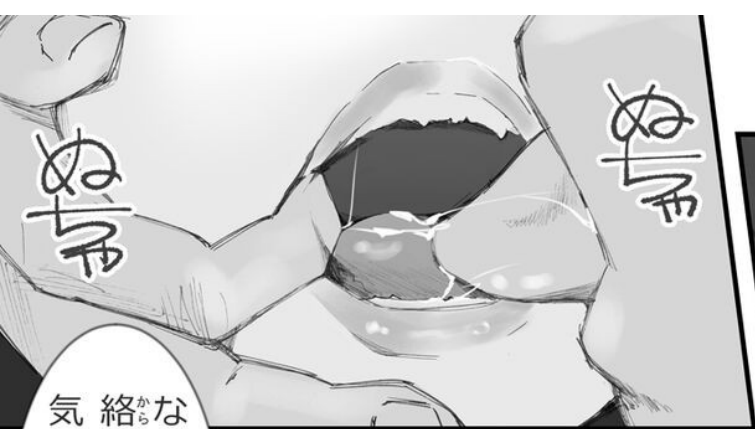






帰ったら
あやまろう





なにこれ…舌が…
絡みついてくる…
気持ち悪い…



マンコ
広げてみる
奥まで見える
ようにだぞ



これは罰…



これは罰…



あおば
青葉はこのマンコ
何回使ったんだ？



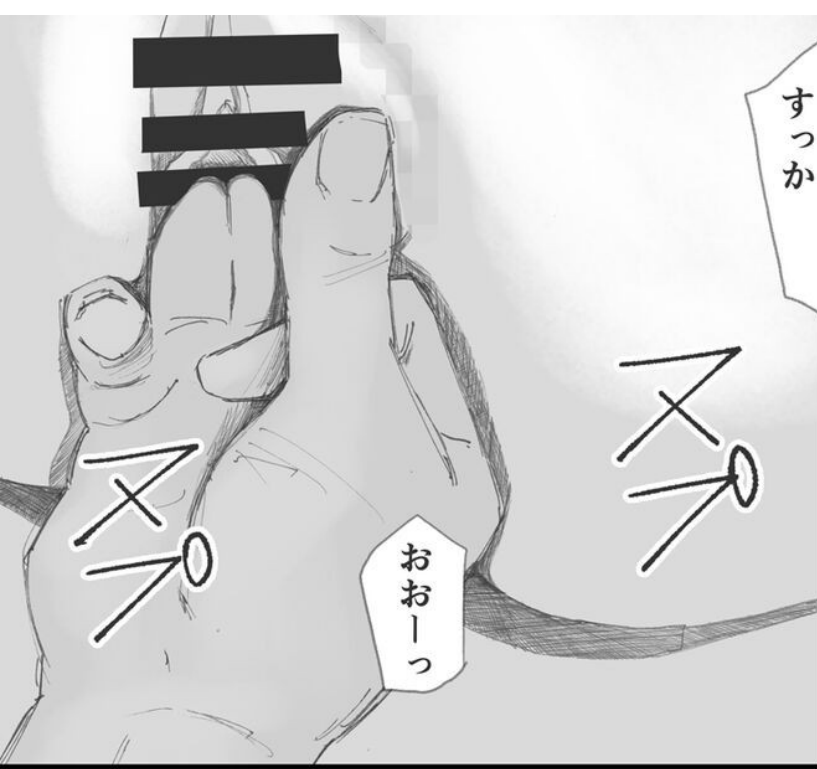
ってことは陽奈
処女だろ



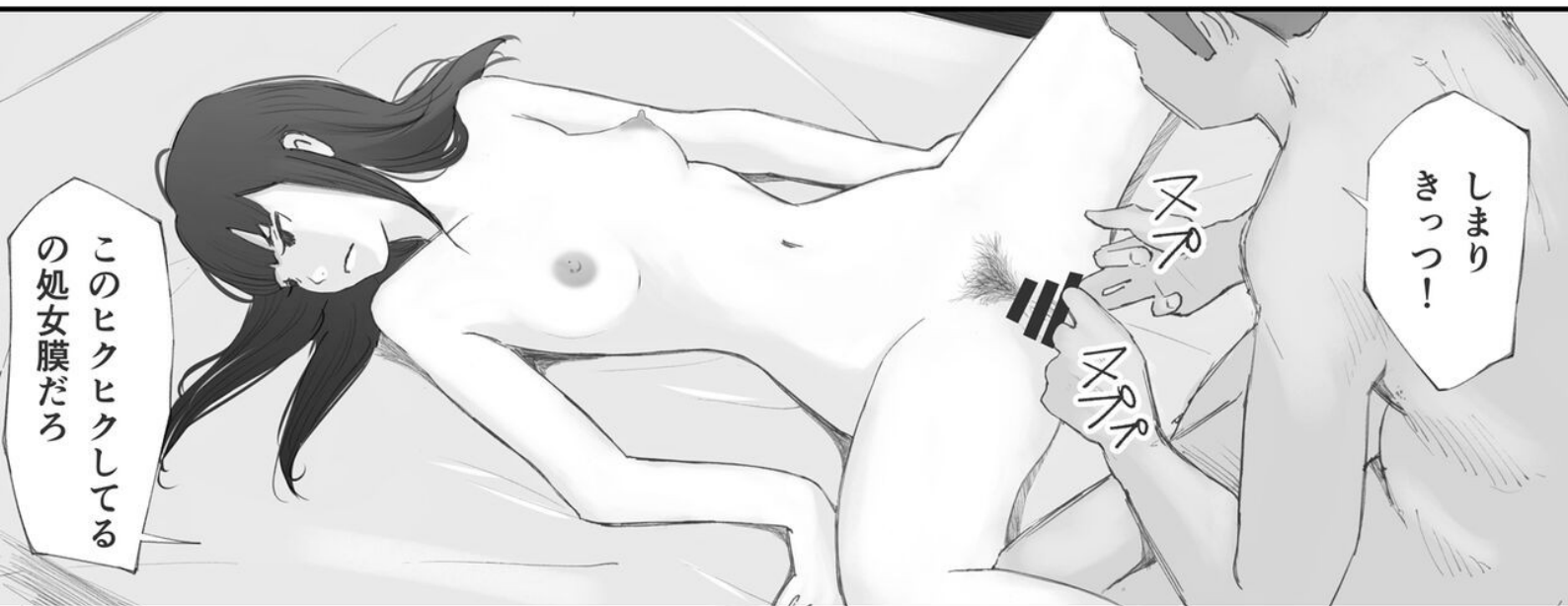
あんたには
言わない



お兄ちゃんとは
してないって
言ってるでしょ！！



じゃあ確認
すつか

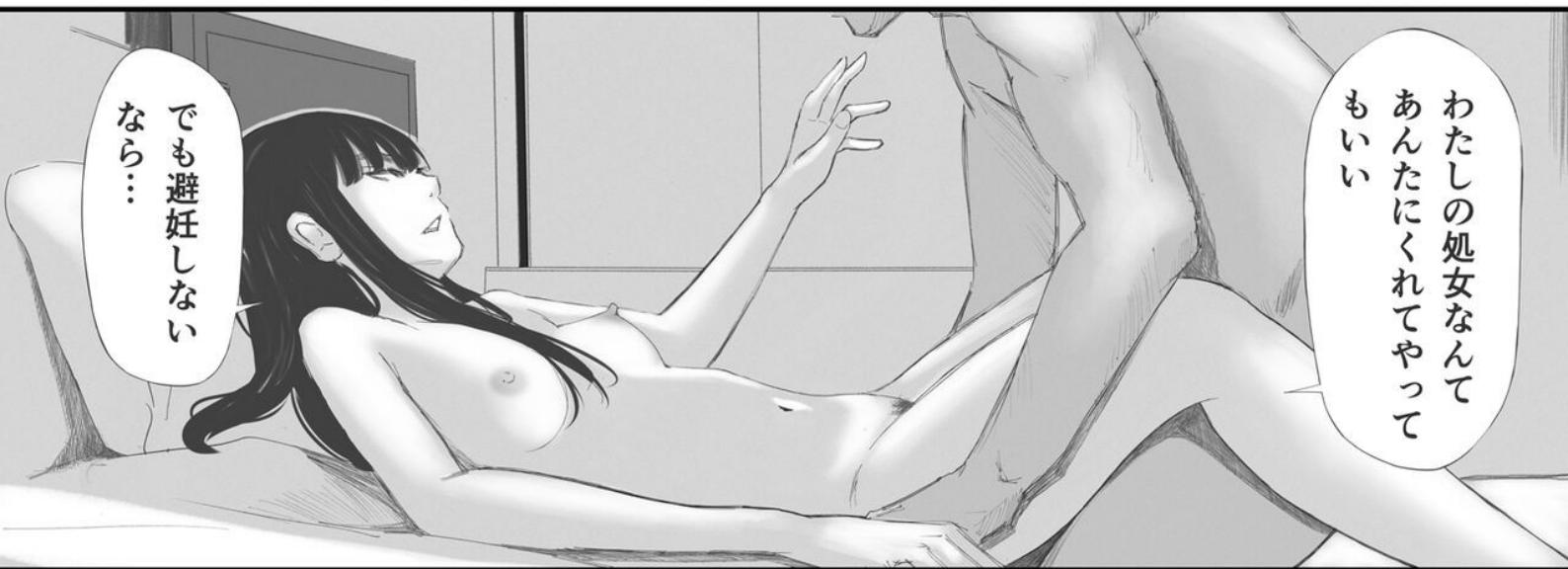


このヒクヒクしてる
の処女膜だろ





避妊して!!



わたしの処女なんて
あんたにくれてやって
もいい

でも避妊しない
なら…

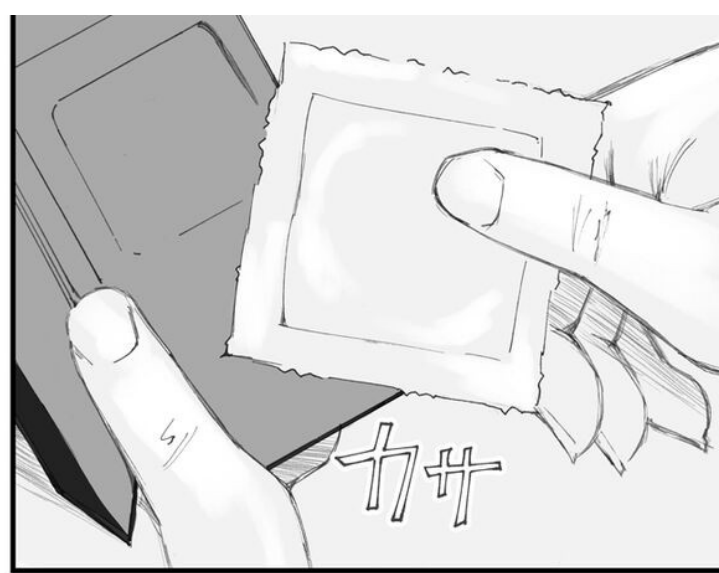


ち

お金は他で
なんとかする



わたしは今すぐ帰る

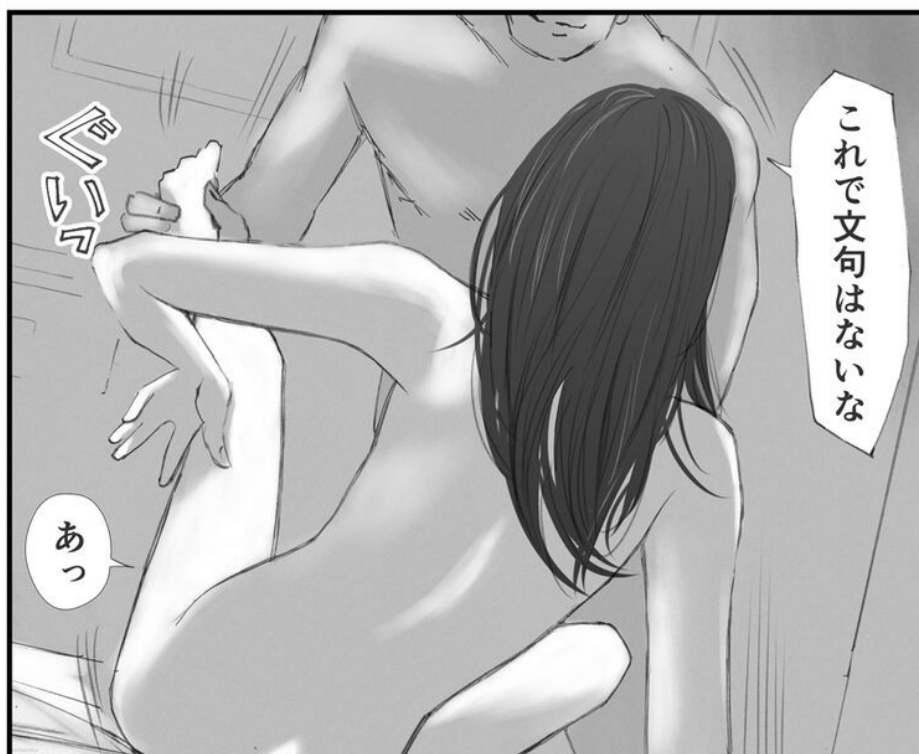


しっかり装着
できてるだろ

自分で確認
してみろ



ホラホラ陽奈^{ひな} もう
先っぽ入ったぞ



これで文句はないな

あっ



ひよおお
すげえしまりがいい
じゃねえか

偉そうな口きく
わりに男を楽しま
せるマンコだな

モノがいくら壊されても…
わたしとお兄ちゃんの
絆は傷つかない

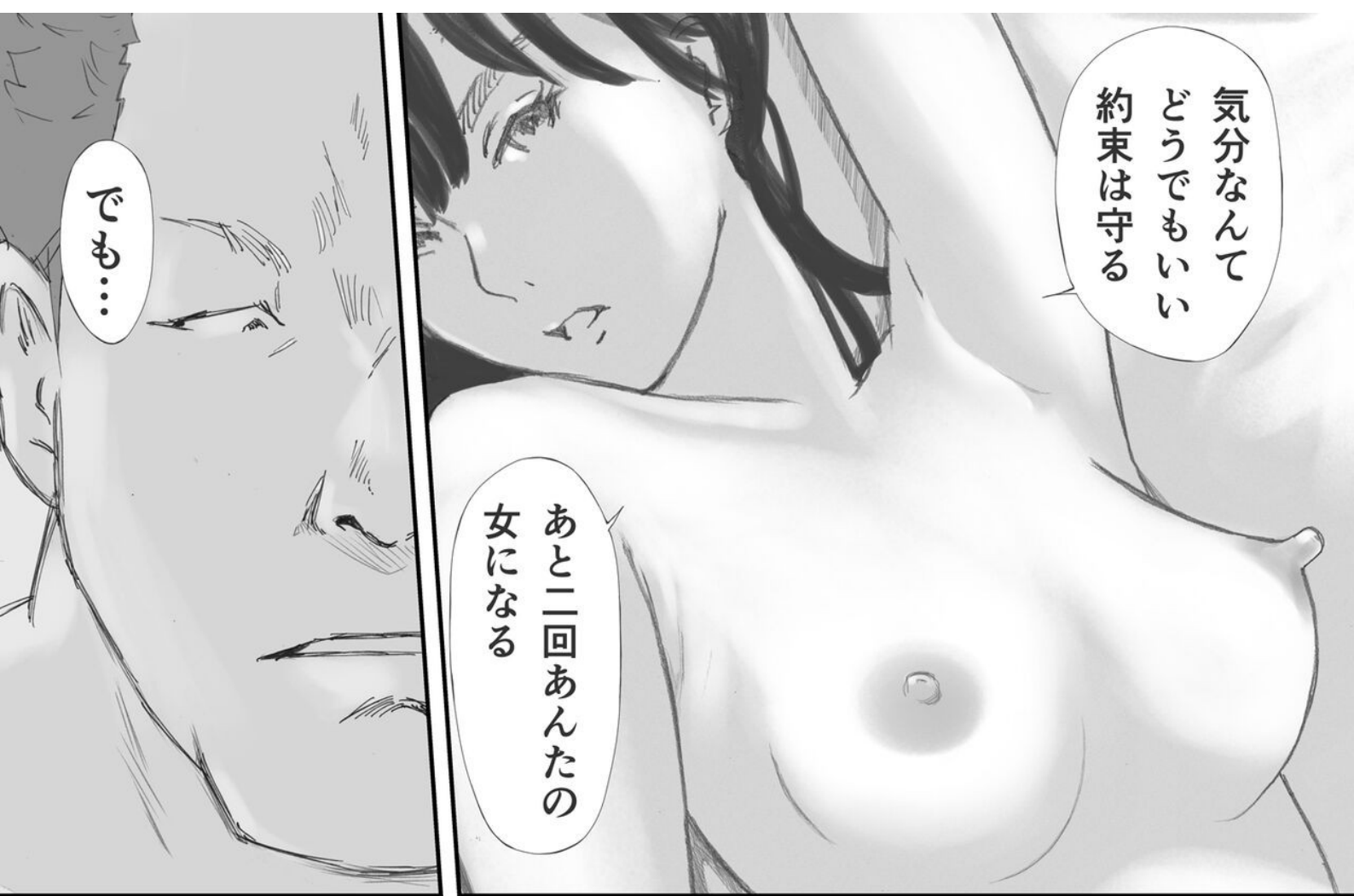
なぜなら…

初めての男のチンポ
膣の奥でちゃんと
味わえよ



誰も触れること
なんてできない

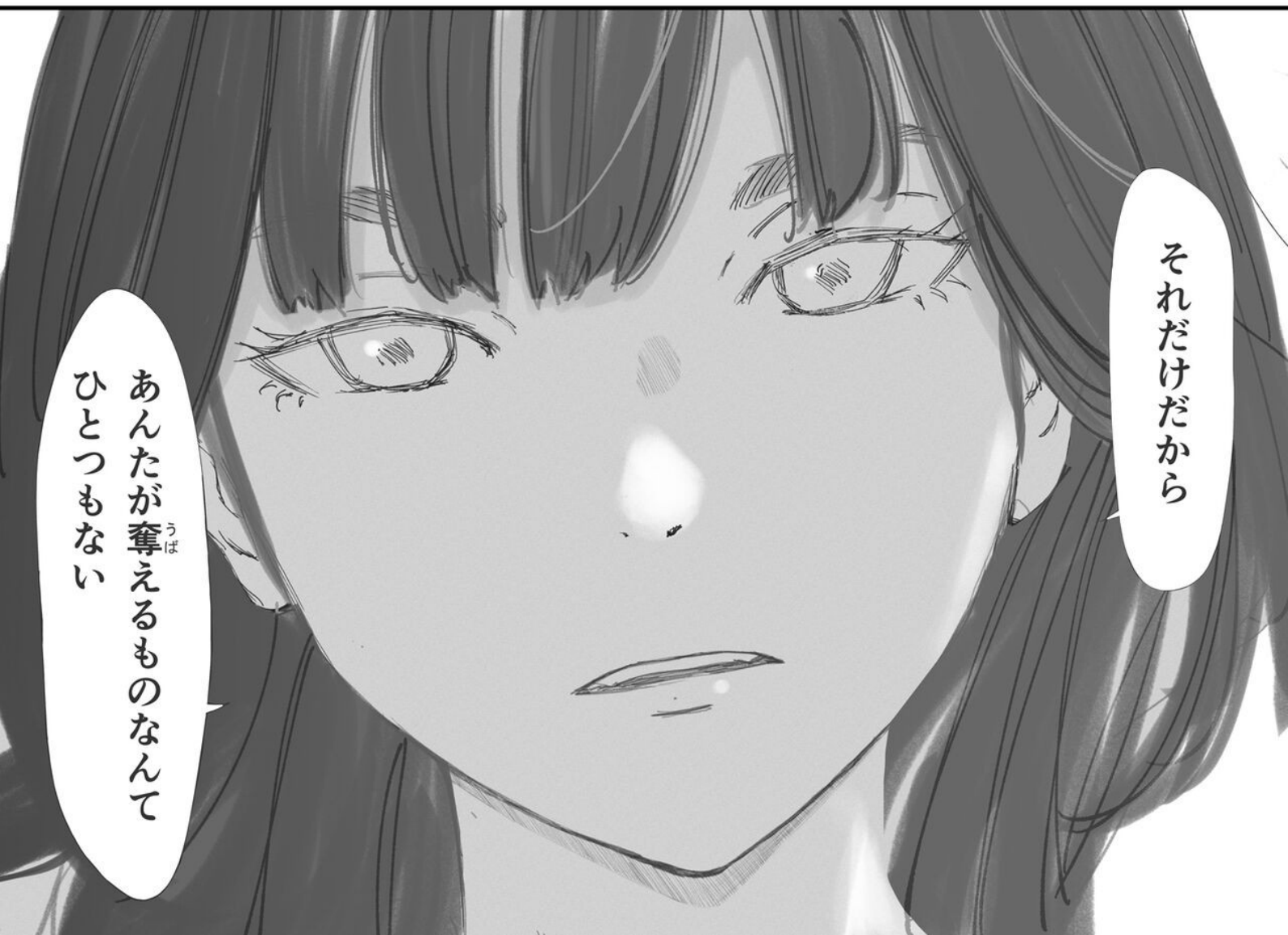




気分なんて
どうでもいい
約束は守る

あと二回あんたの
女になる

でも…

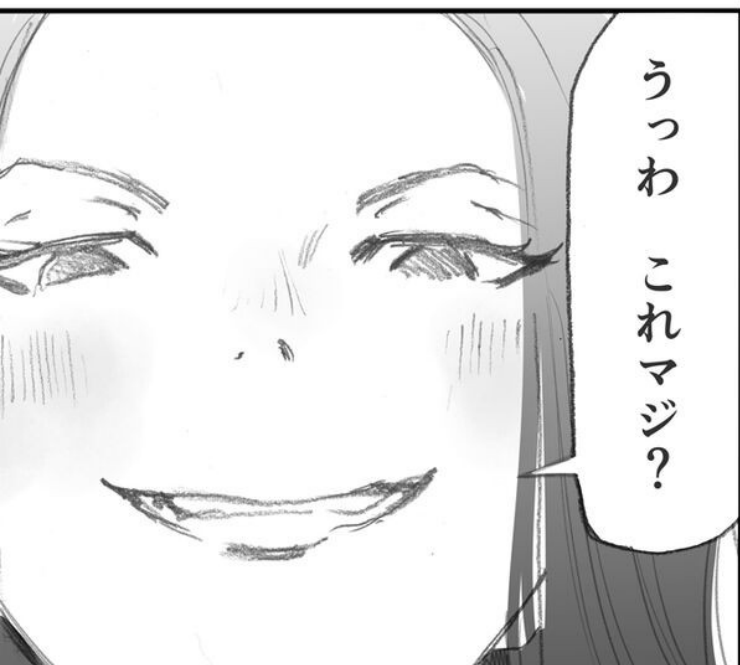


それだけだから

あんたが奪^{うば}えるものなんて
ひとつもない







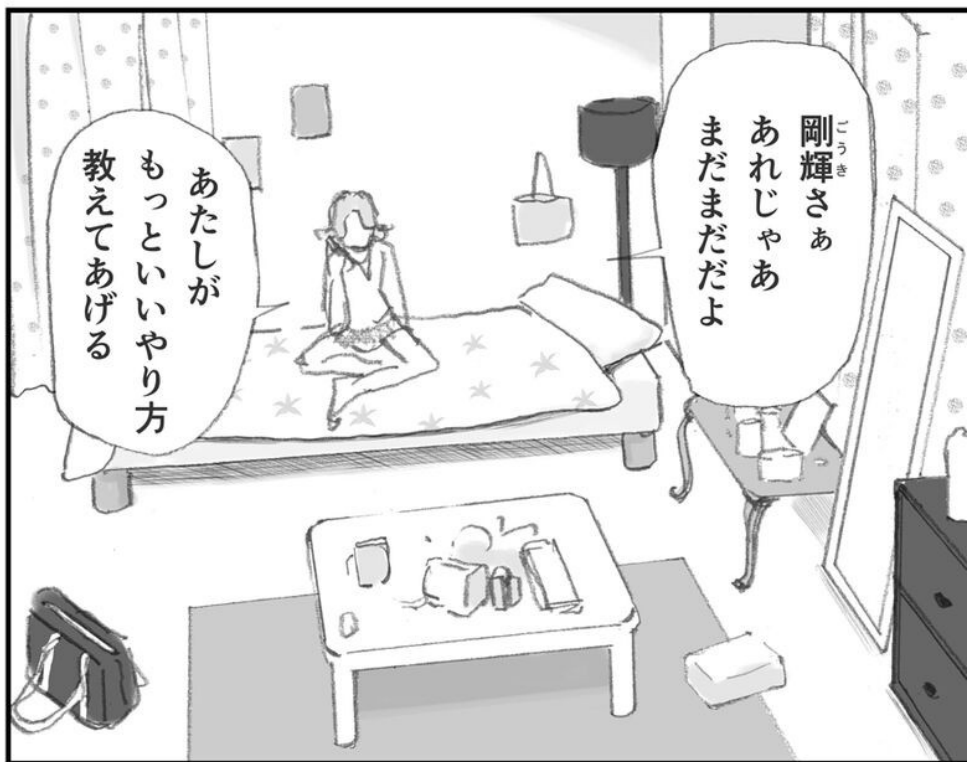


いいカラダ
してんじゃん

でもこの表情は
まだまだ…



雑すぎ!



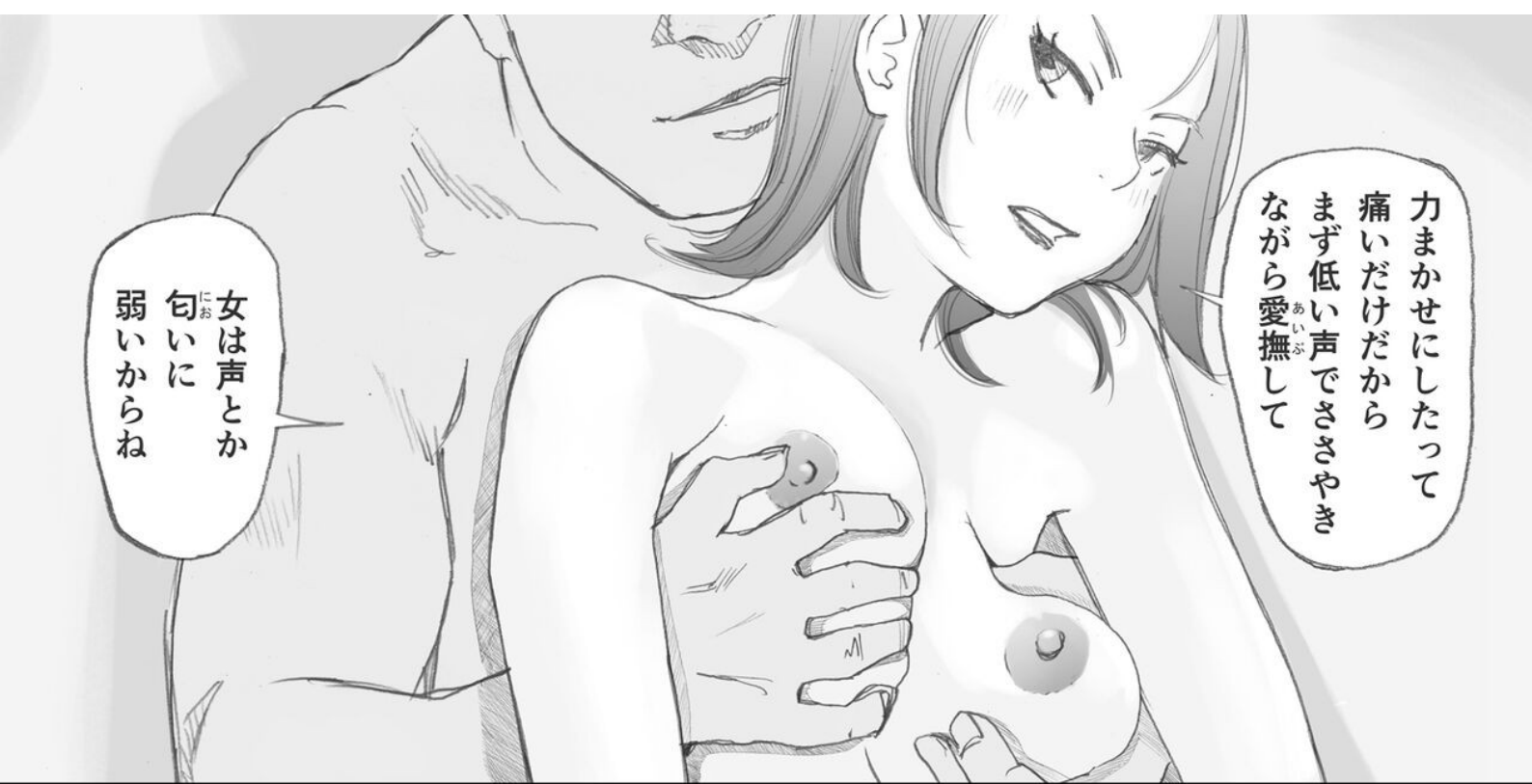
剛輝さあ
あれじゃあ
まだまだだよ

あたしが
もっといいやり方
教えてあげる



ハハハ 律子おまえ
まだ陽奈にむか
についてんだろ

うっさい
雰囲気いいホテル
予約しておいて
安っぽいのは
ダメだから



力まかせにしたって
痛いだけだから
まず低い声でささやき
ながら愛撫して

女は声とか
匂いに
弱いからね



あたしのカンドと
陽奈は感じやすい
タイプ

そんなの
わかるのかよ

わかるわよ
だから剛輝が誠実なフリ
して丁寧^{ていねい}に愛撫すれば
感じる可能性大だから

こんな感じか？

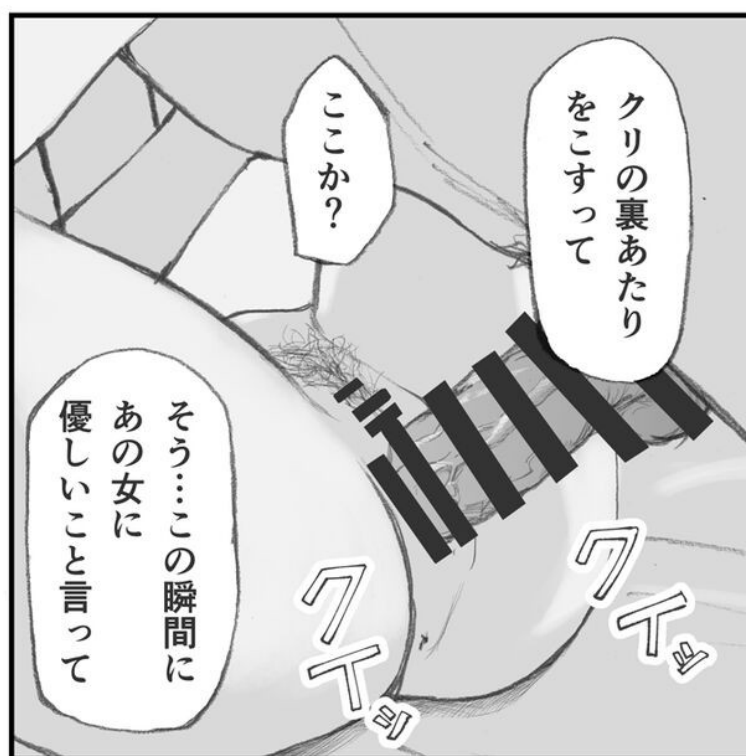
あん…そう



濡れてきたら
ゆっくり入れて
キスしながらね



指を入れる
時はクリも
いじって





剛輝^{ゴウキ}のモノ
すごくいい
ところ当たる



やさしく
子宮に
キスする
みたいにな...

このコリコリ
してるところか？



へへ コツが
わかってきたぞ

どうだ、律子^{リツコ}



剛輝^{ゴウキ}...こういう
ことだけは

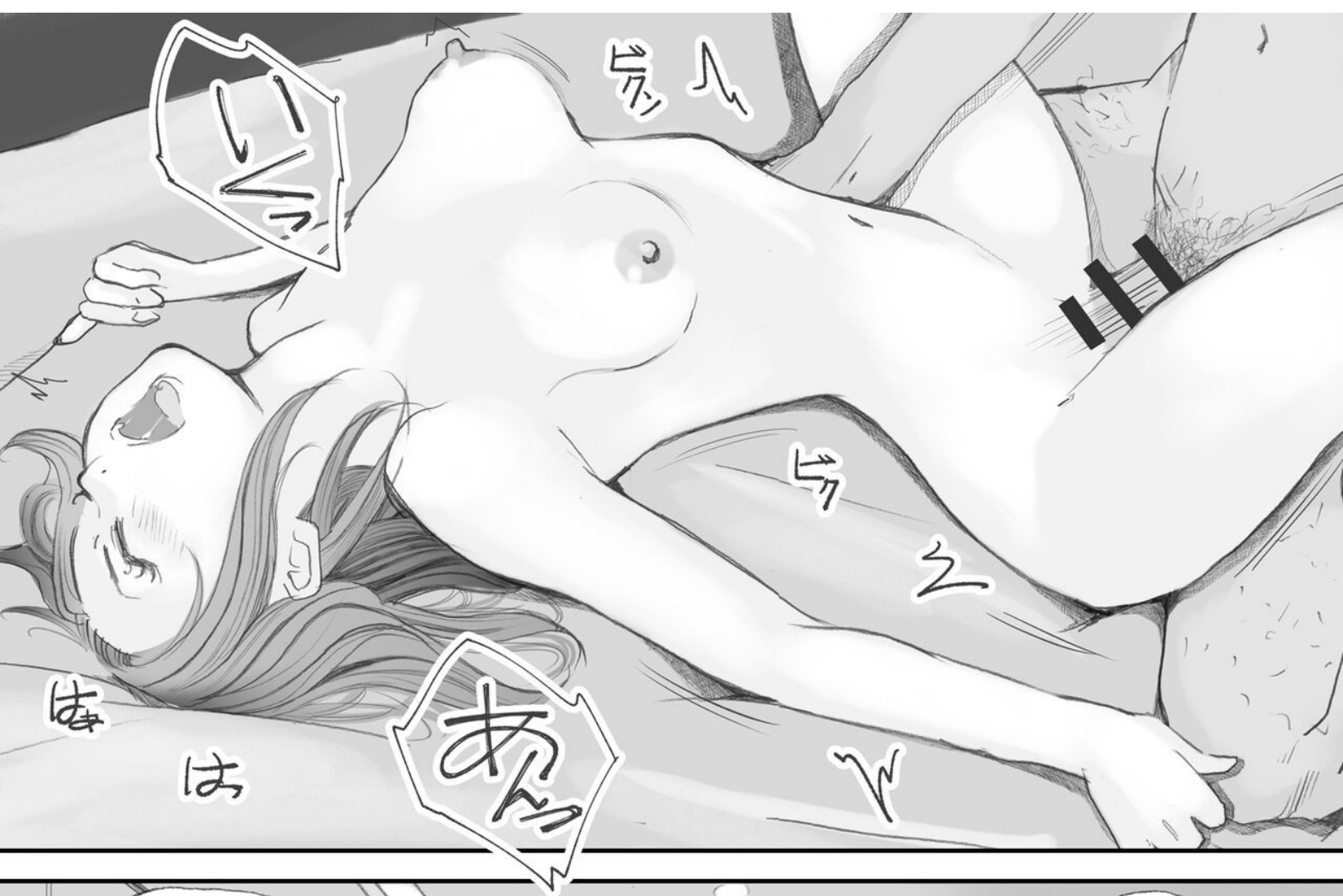
飲み込み早い
んだから！



こうやって子宮を
ぬちゅぬちゅ
こねくりまわせば
いいんだな

そう...この場所
覚えておいて

んああつ
こんな吸いついてくる
おちんちん初めてだよ

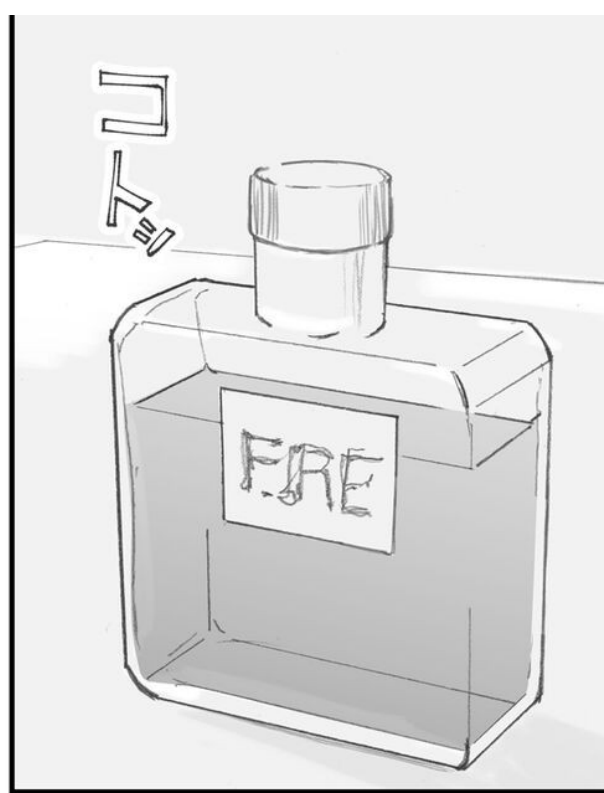


次に陽奈を
誘うのは一週間
後にして

そして
ちゃんとした
デートのふり
しなさいよ

その間にあの
女のカラダは
男を受け入れ
るように
変わるから







ありがとう
使わせて
もらうよ

よかった
陽奈ちゃん絶対
気にいるよ



今までいろいろ
あったけど…

これもきっと
青春のいい思い出
になるんだろうな



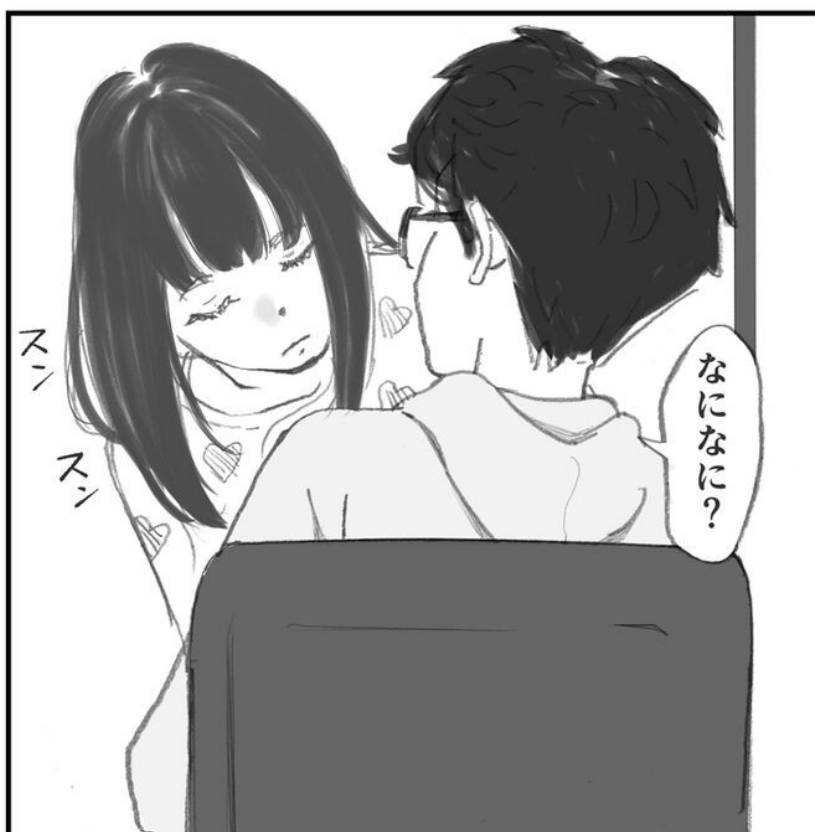
大切な話が
あるの



お兄ちゃん！

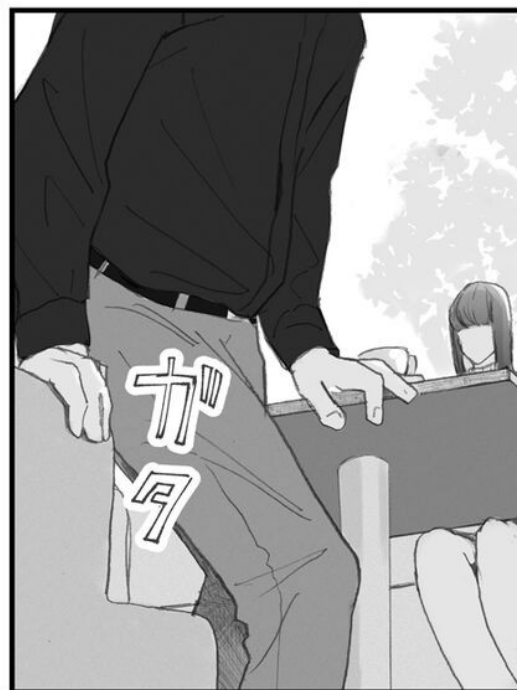
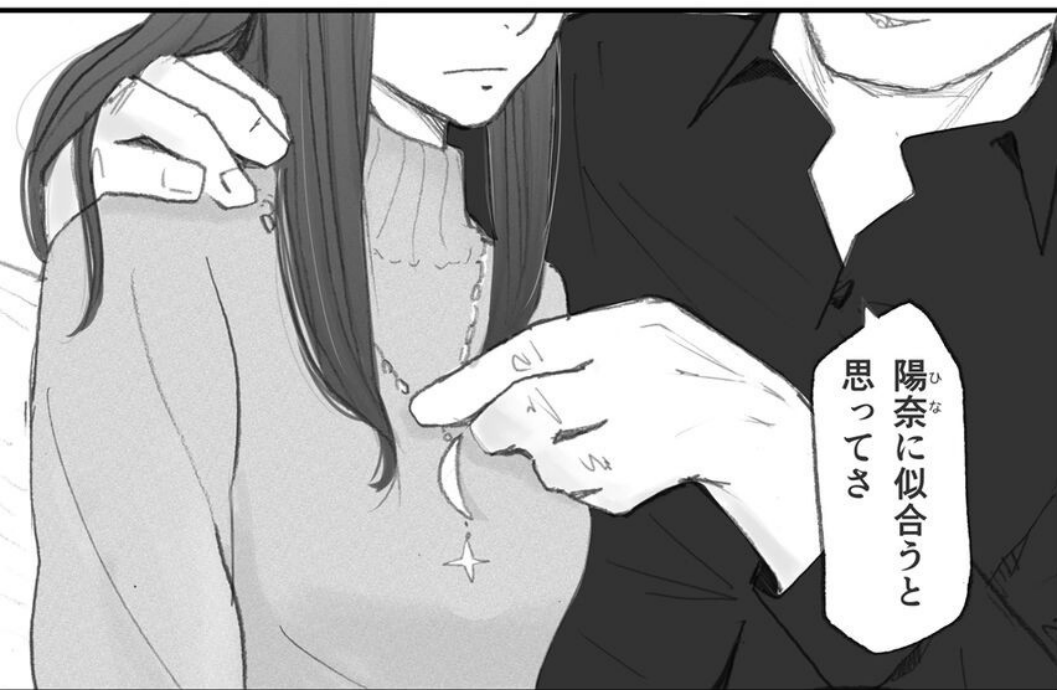
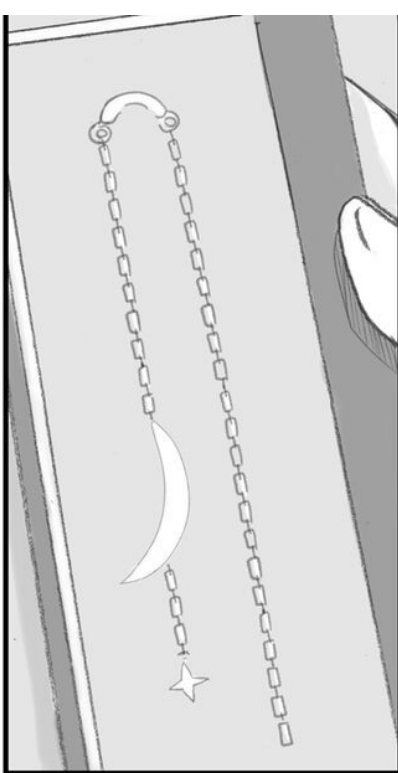
カラ













あれから陽奈の
ことずっと考えて
思ってたんだが…



いい部屋だろ

今日のため
予約して
おいた



それはない



オレたち意外に
相性いいだろ？



渋沢がどう
思おうと
勝手だけど

わたしはそう
いう妄想に
興味ないから



そのことに陽奈が
気づいてない
だけかもな



あと二回で...

そんな固く
なるなよ

わたしを抱く
んでしょ

とにかく今日も
約束守る

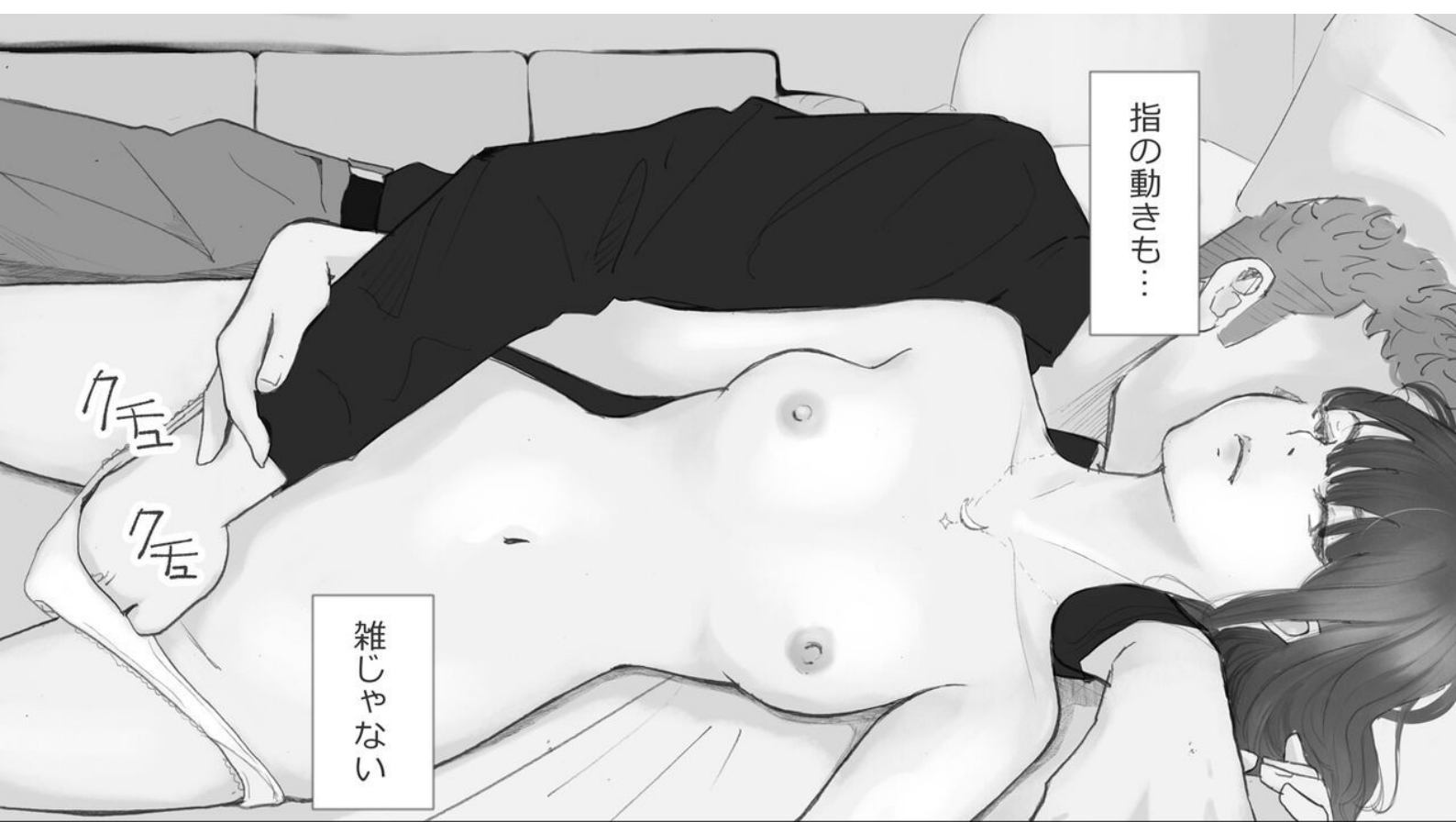


お兄ちゃんを
助けれる



たった二回で





指の動きも…

雑じゃない

クモ
クモ



前のとときと
ぜんぜん
違う！

んっ

シクン



なかなか
いいスタート
じゃないの

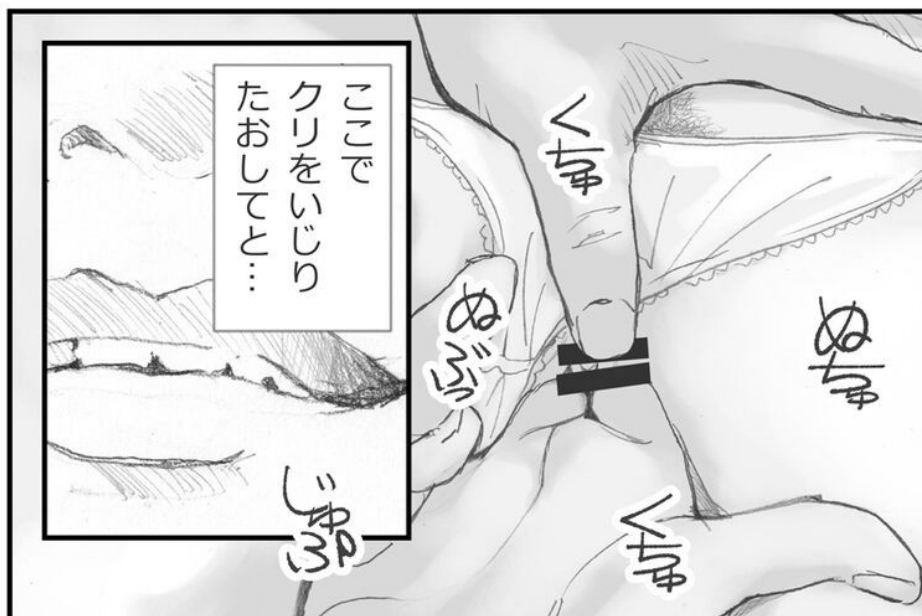


なんなの…
この吸いつく
みたいな感覚

いっしょ

いっしょ

くちゅ



ここで
クリをいじり
たおしてと…

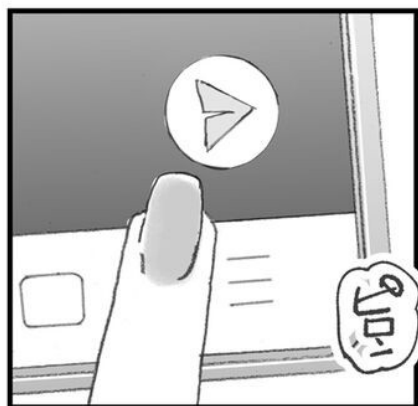
くちゅ

ぬい

ぬい

くちゅ

いっしょ



顔はわからない
ようにして…



まずは
一枚目…



それになんか
私のカラダ…

変に敏感に
なってる



こんな時
渋沢^{しぶさわ}なんか
いじりまわされ
たくない

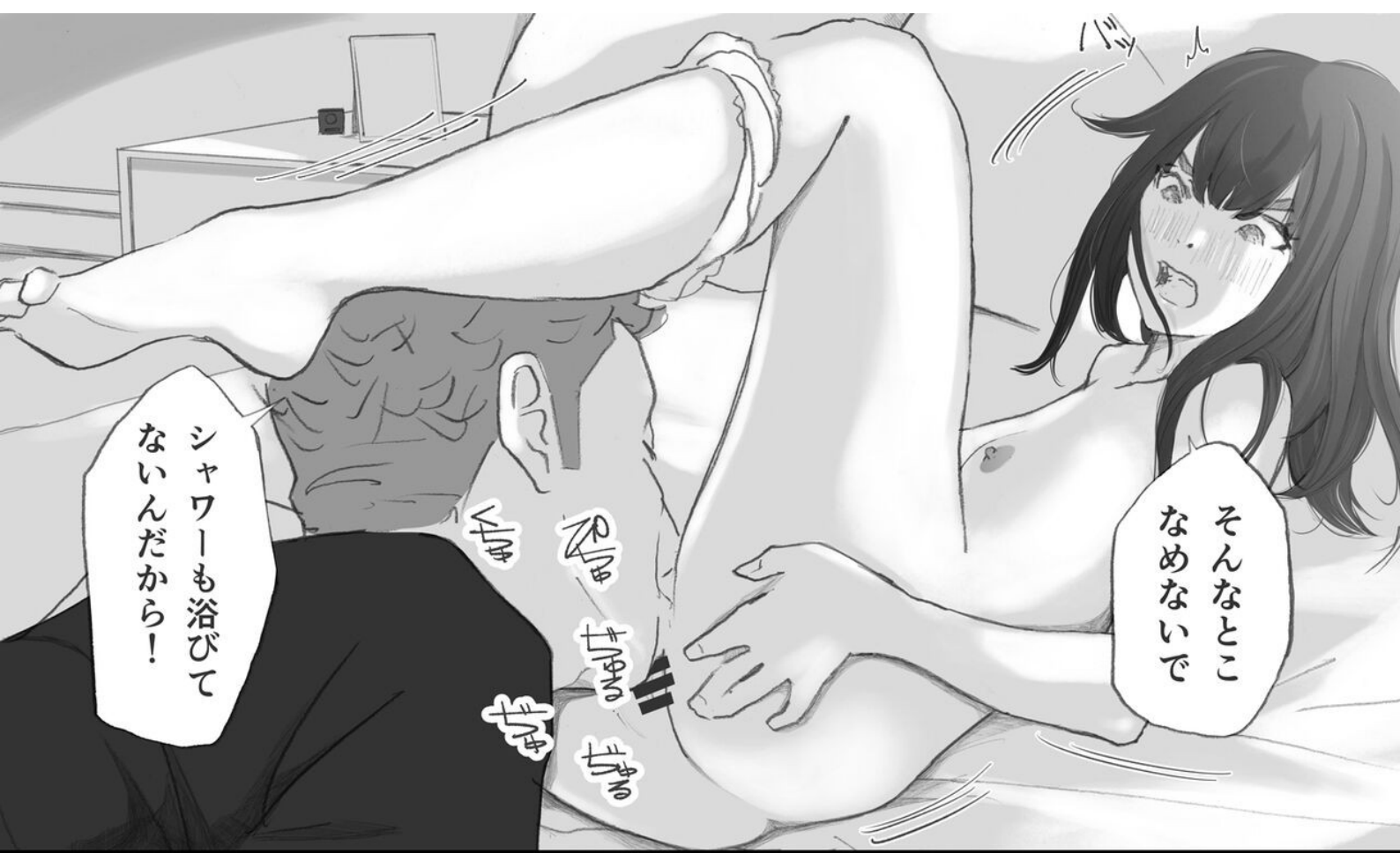


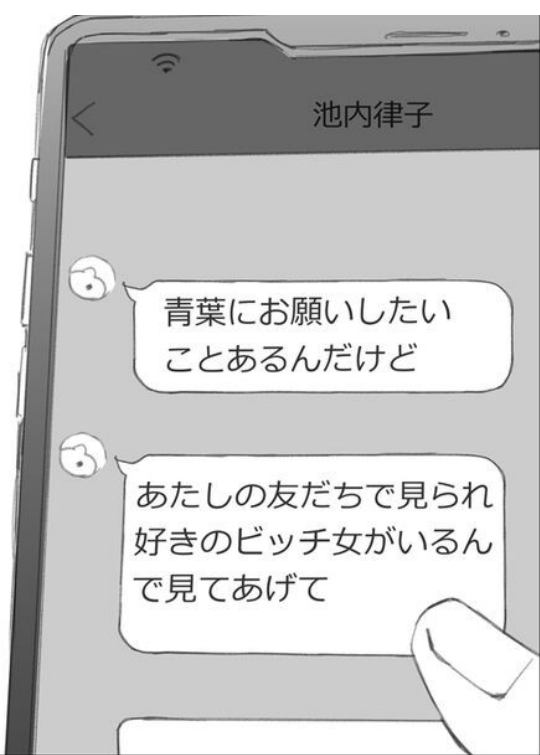
え…ちよつと



だけど…

いっぱい
舐められるのは
もつとだめ





なんなの これ
なんでこんなしつこく
舐めてくんのよ

ほんと最低
こんな下品な
音たてて…

しつこすぎて
舐められてるとこ
だけ熱くなってる…

いい…かげんに
しなさいよ…

だんだん感じて
きただろ？

感覚狂わ
される…

そんなわけ
ない…でしょ

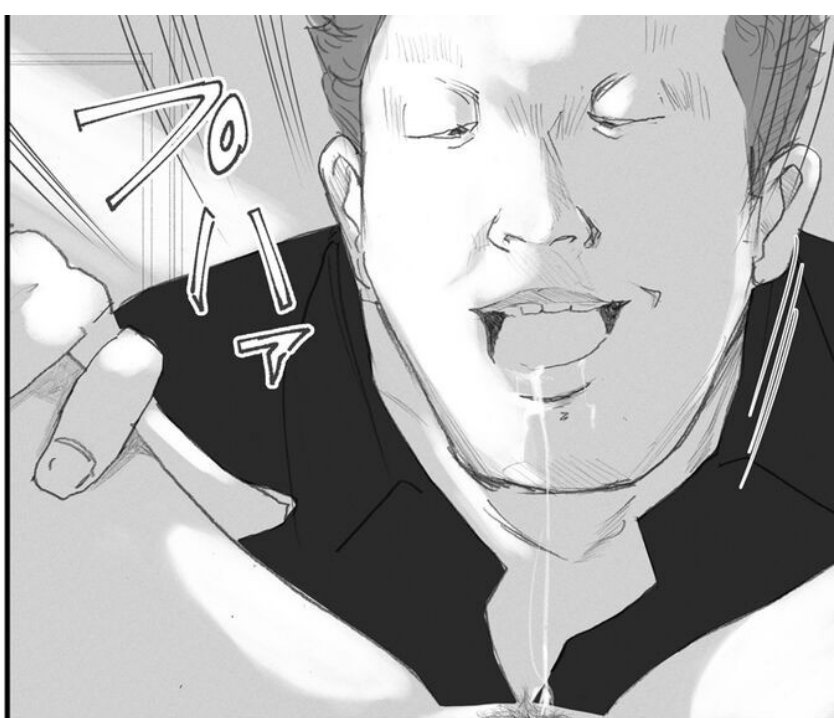
池内さんいけうちに
からかわれてる
のかな…いや

これが池内さんいけうち
なりの仲直りの
仕方なんだろう

エロいけど



今の妙な感覚
なんだったんだろ
とにかく危険な感じ
だった…



そういうのいいから
ちゃんと避妊して



心も通い
合わせて

今日は二人で
たっぷり気持ち
よくなろうぜ



あとはこないだみたいなの
痛みに耐えればいだけ…



心配すんな
こないだだって
ちゃんとしただろ？

ちっ
まだ生は
無理か

ただそれだけ
そのうち終わる

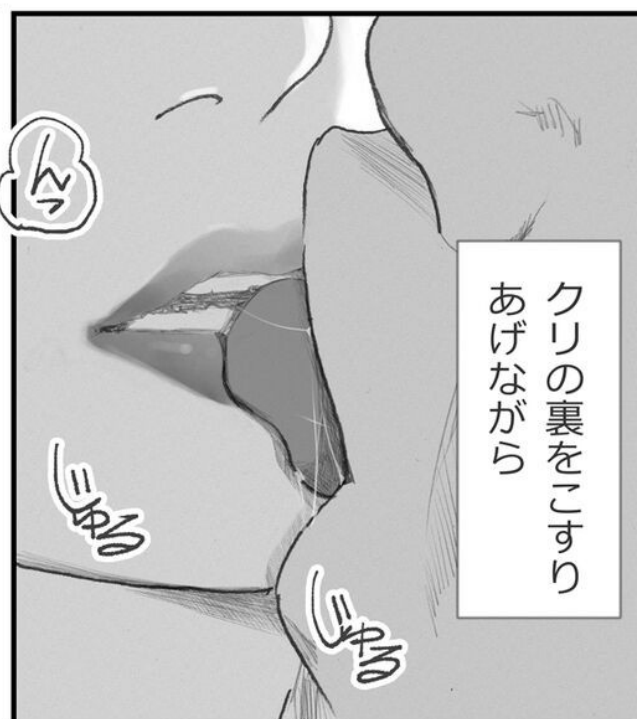
何も考えないで
耐えてればいい

またオレたち
つながるぞ

あ……れ……？

ぜんぜん痛くない？
っていうか……





オレは今
陽奈のことしか
見れないし

これからも
ずっとそうだから

な…何よ
いきなり

へ…変なこと
言わないでよ

でも渋沢なんかで
感じたりしない！

しつこくクリ裏
いたぶってと…

本当なんだから
しかたないだろ

他の女なんて
どうでもいいんだよ
陽奈だけ

そ…そんな
こと言うな！

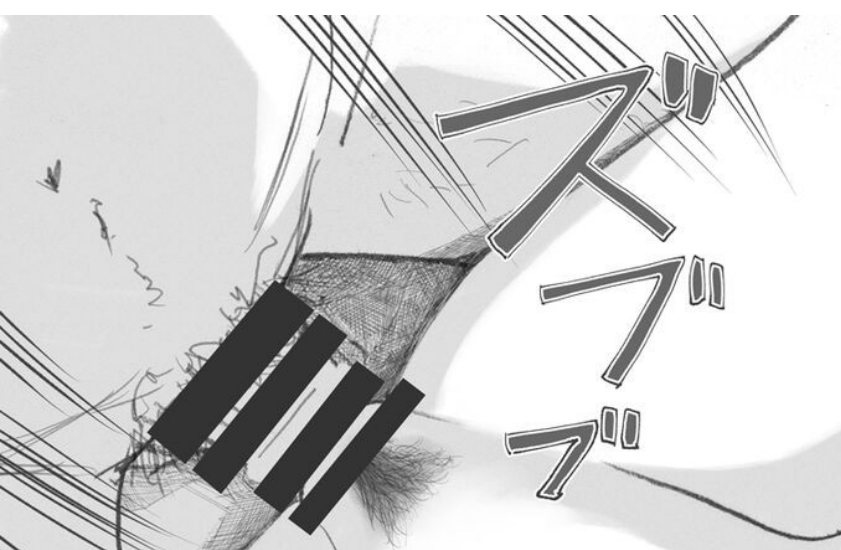
お兄ちゃんとわたし
のこと笑いものにした
奴なんかで感じたりしない

ぬちゅ

二枚目をプレゼント
してやるよ
お兄ちゃん

わたしとお兄ちゃんには
絆があるんだから…

守る！



ズ
ブ
ブ



そろそろ
子宮まで...



つつこんで
やるよ



ヒ
タ
リ



や
あ



ヒ
タ
リ

また画像
来た！



全裸にネックレス
だけって
セクシーだなあ



こんな子が
見られたがり
なのか



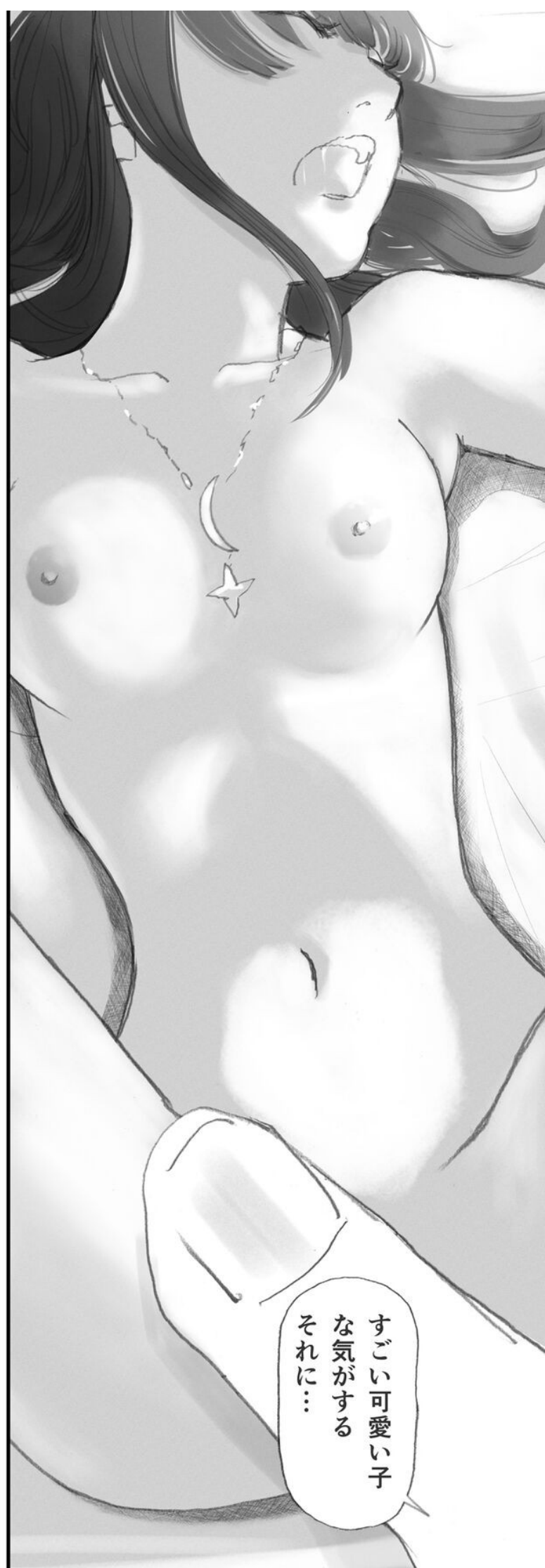
ほら
ほら

子宮にキスされて
感じるだろ？



子宮と唇でダブル
キスだな

う…うるさい
きもい！
さっさと
終わらせ
なさいよ



すごい可愛い子
な気がする
それに…



やバイ
理性とびそう

感じちゃだめ！



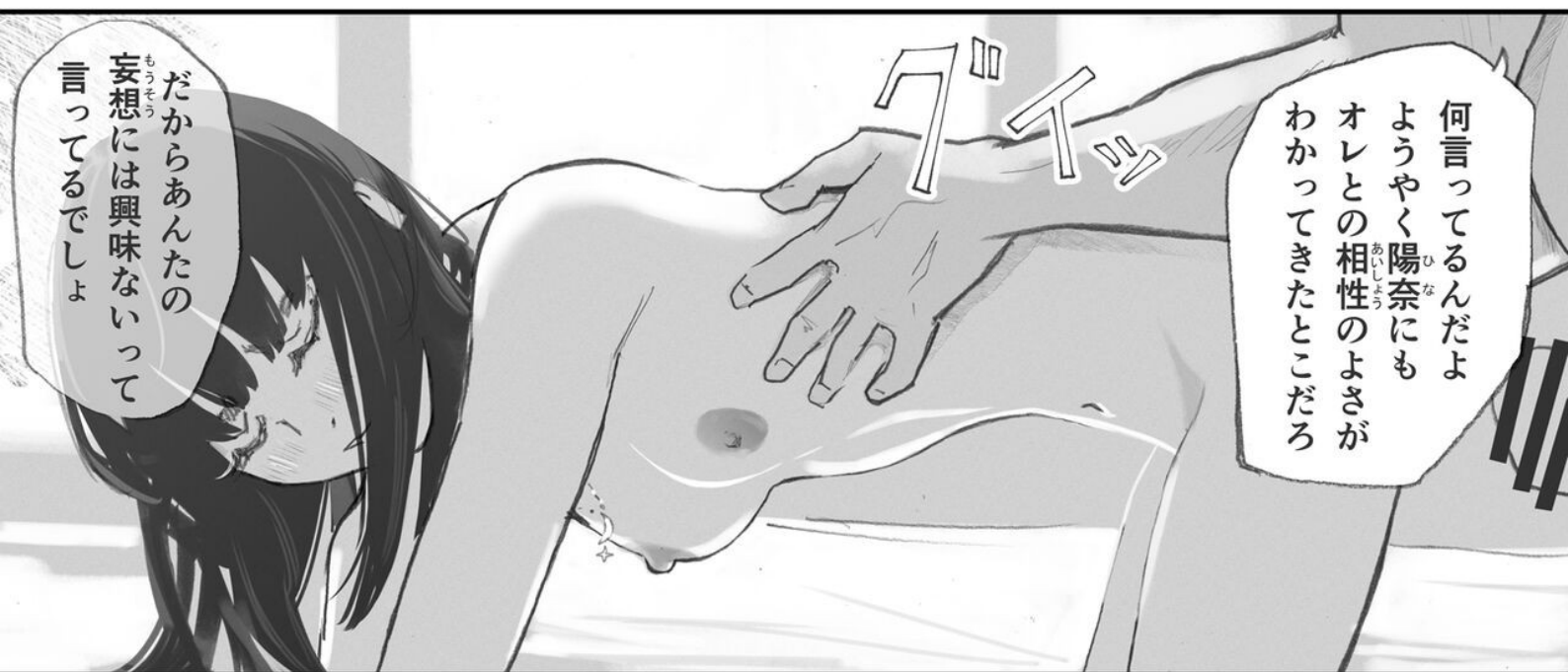
きずな…きずな…
守る！





ケツを上げて
こっちに向けるよ

まだするの？
もう十分でしょ…



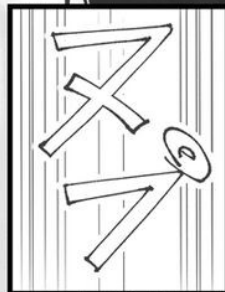
何言ってるんだよ
ようやく陽奈にも
オレとの相性のよさが
わかってきたとこだろ

だからあんたの
妄想には興味ないって
言ってるでしょ



へえ？じゃあメス犬
みたいけどこれで
子宮キスしてやるよ

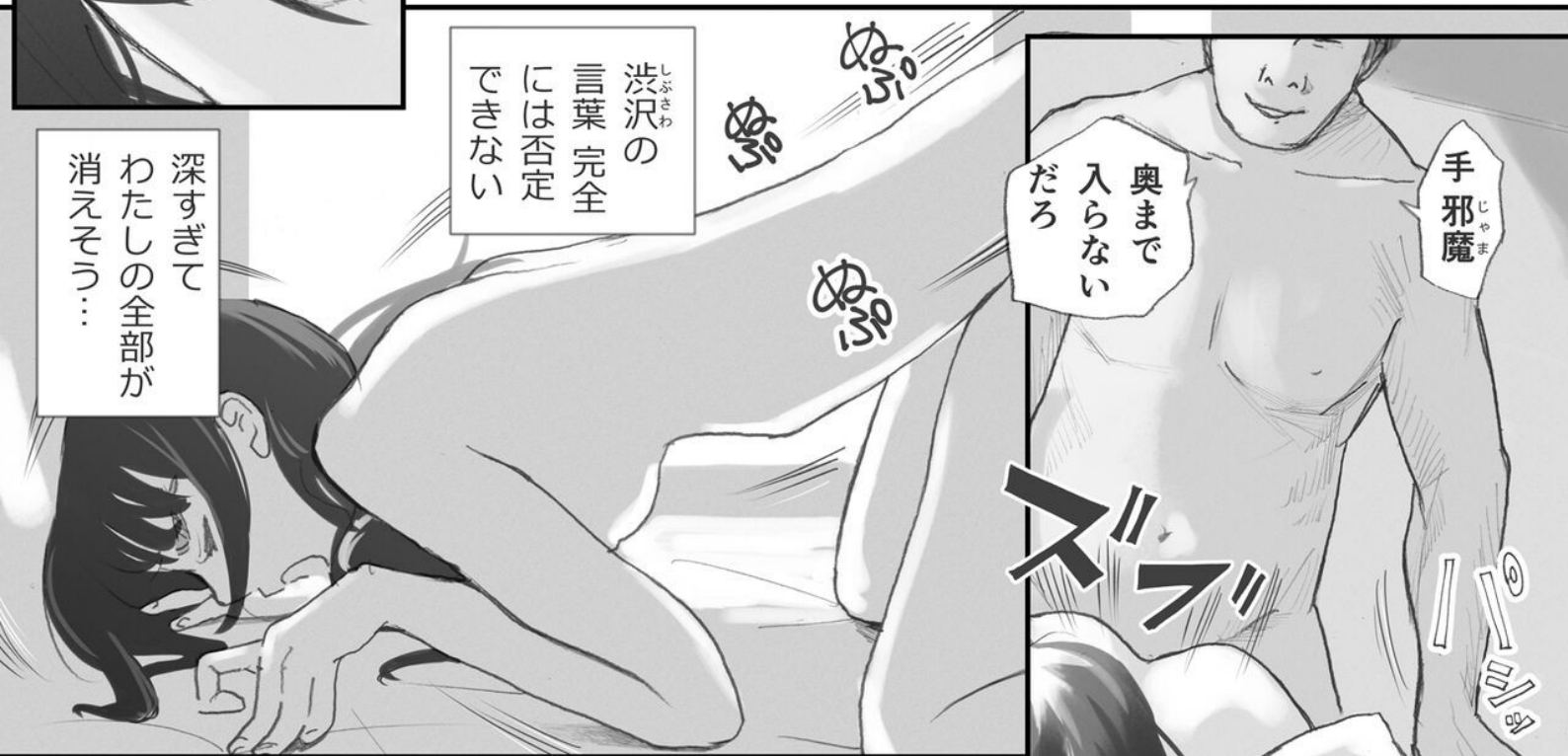
抜かれたことで
冷静になれた…
耐えられる！
気を取り直して





捨てるわけ
ないでしょ！

我慢
我慢しないで
感じまくれ
今までの
自分を捨てろよ



渋沢の
言葉完全
には否定
できない

深すぎて
わたしの全部が
消えそう…



奥まで
入らない
だろ

手邪魔
じゃま



絆
きずな
…

守る！

絶対…

でもダメ！
こんなの
ダメ！



お兄ちゃん
との絆きずな

守る！

ガッ
リッ



こんなひくついて
るのに意味ないだろ？

何て言われようと…
耐える



陽奈ひなまだ耐え
ようとしてる？



顔も見たいなあ

池内いけうちさん
送ってくれないかな？

これなら

なんとかか…

ぎりぎり…





あれ：
お兄ちゃんの
に：おい：

陽^ひ奈^な！



ずっとずっと



いつでも



陽奈^{ひな}を
見守っているよ



僕たちには
きずな
絆がある

ちっちゅ

だから…

いけ！



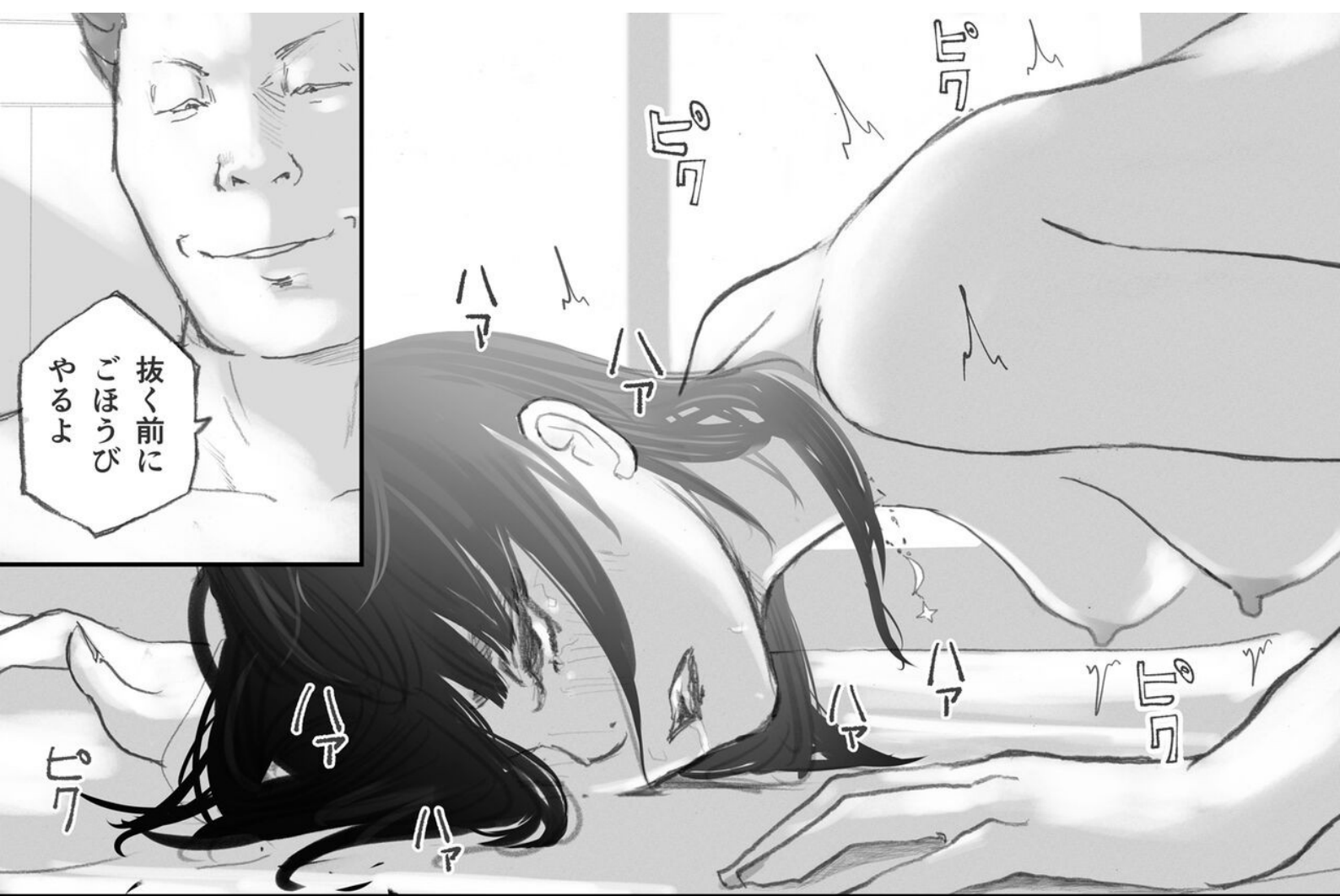
んのおお

ゴッ

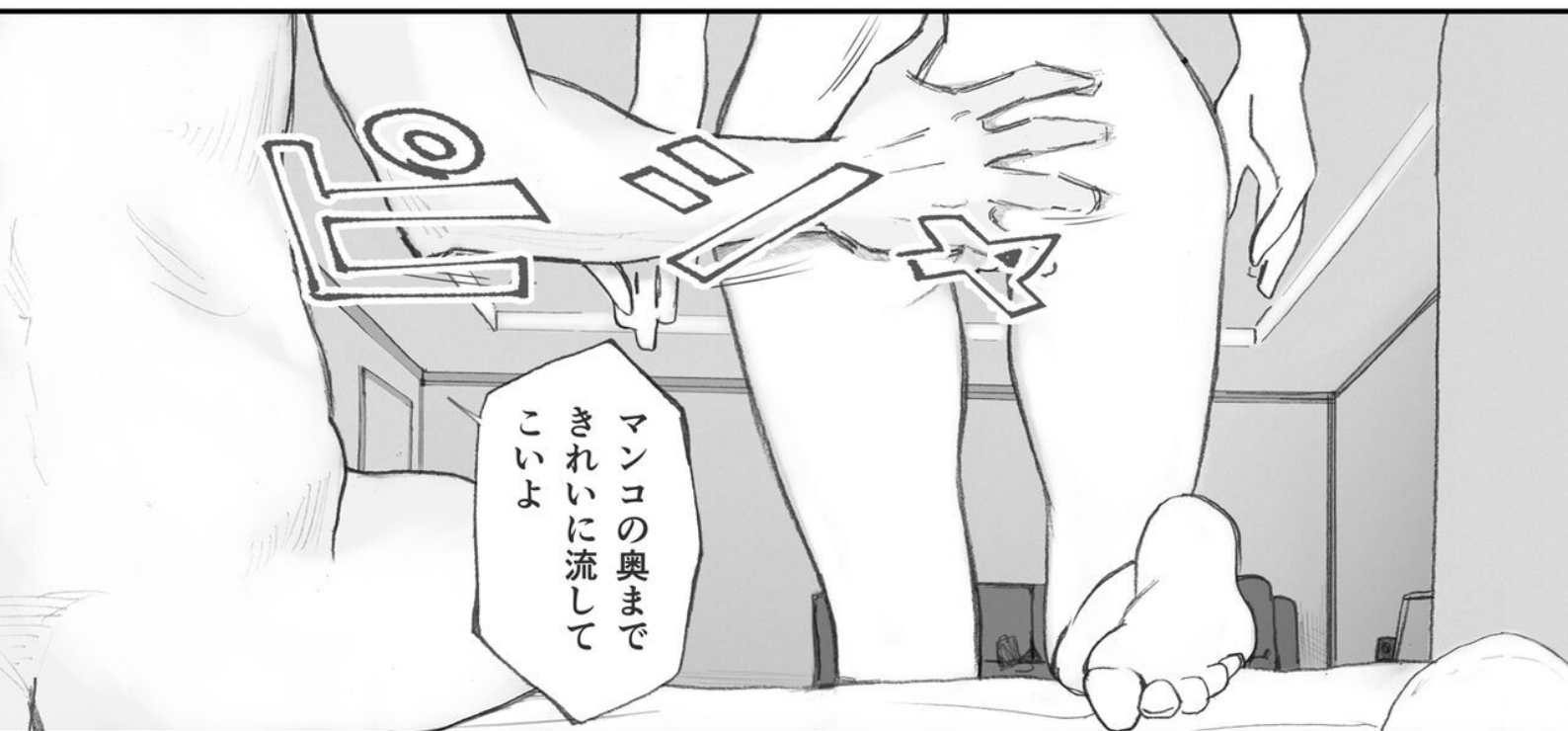
ゴッ

んのおお













カラダが溶ける
みたいな感じ
ずっと続いている…



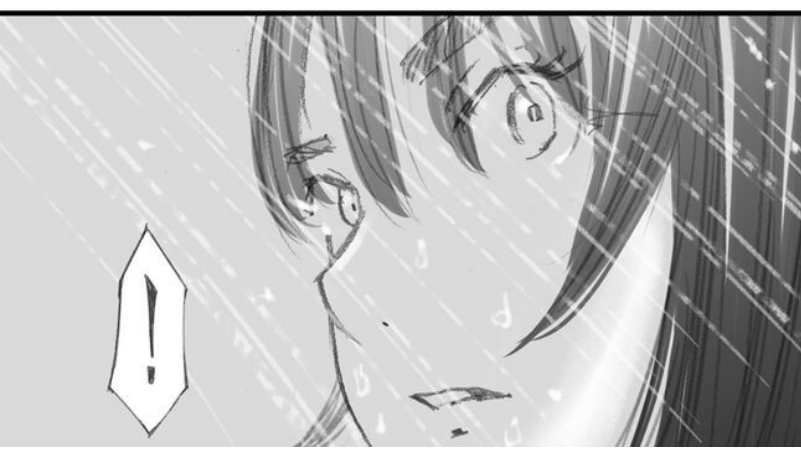
わたしのカラダ
どうしちゃったの…



ガチャ



ちよつと触^{さわ}っただけ
でもさつきの感覚が
よみがえりそう



!

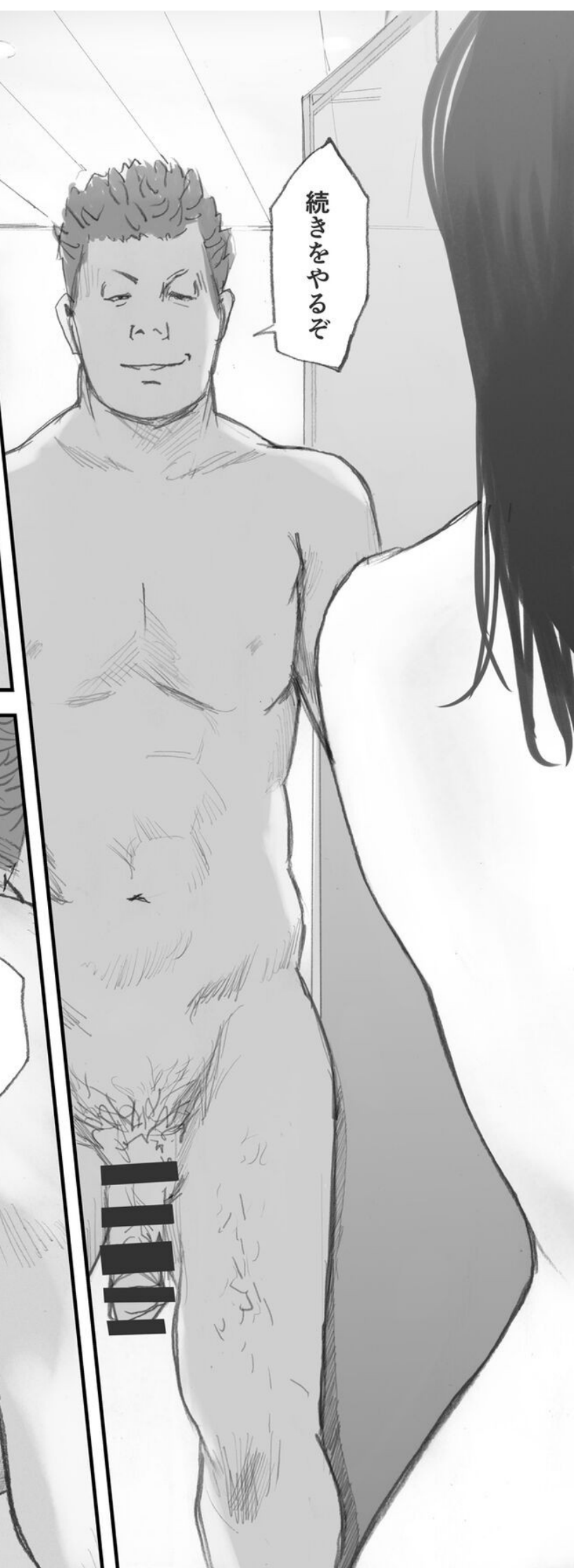


え?
ここで?



きゃ

もちろん
ほら壁に
手をつけ



続きをやるぞ

三三三





ならそれぐらいのこと陽奈の口から言ってもらってもいいだろ？

そ…
そうだよ

オレだって陽奈からそういう言葉聞きたいんだよ

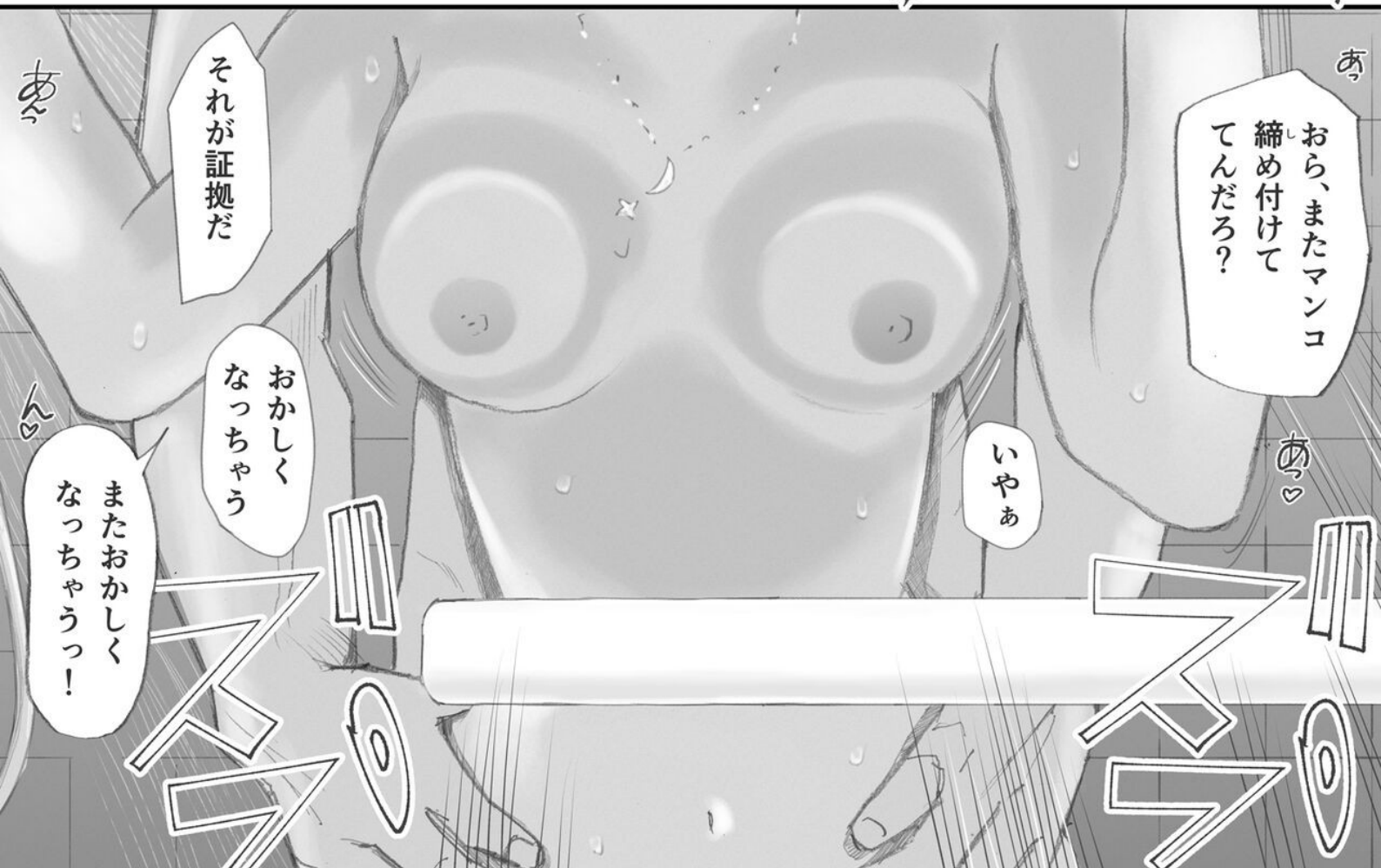


オレは陽奈の初めての男だし初めていかせた男でもあるよな？



渋沢とわたし…
カラダの相性はいい

すごく
いい



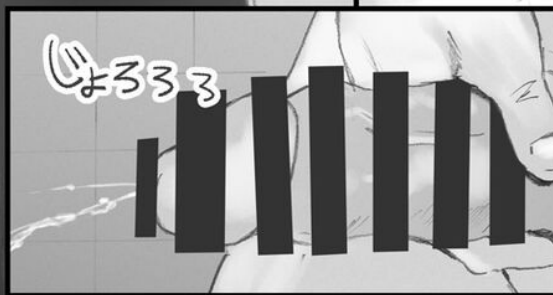
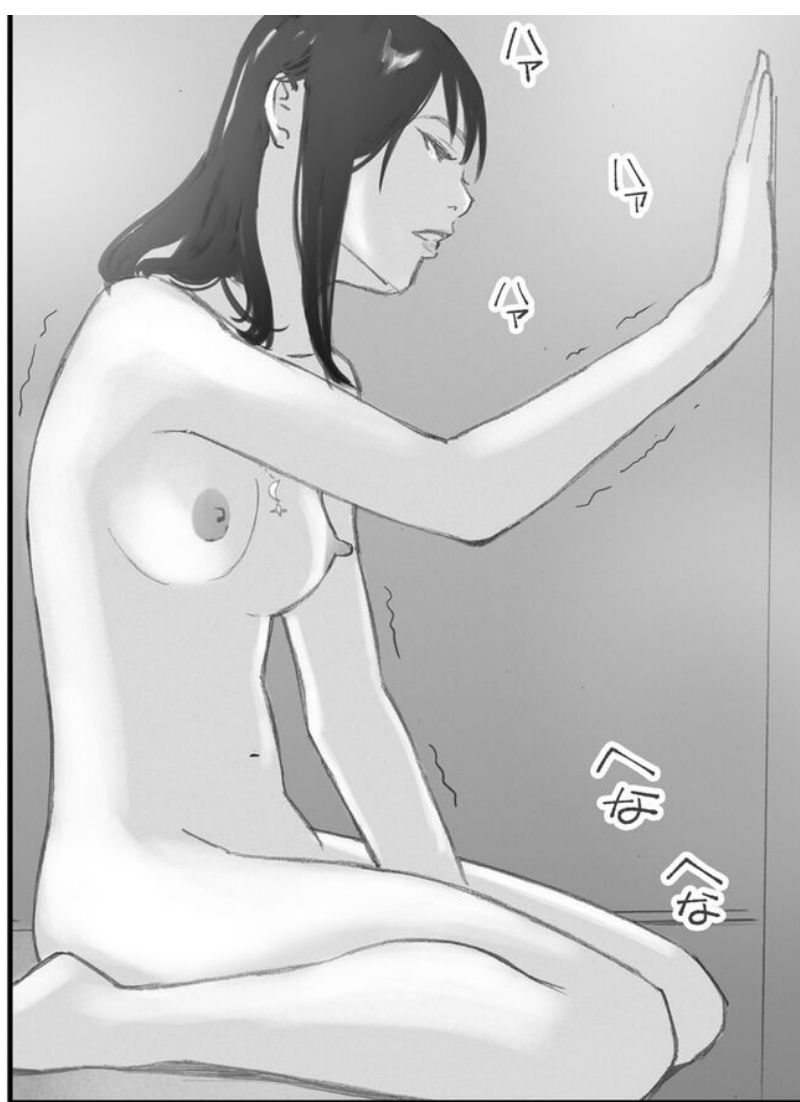
ああ

おいおい陽奈^{ひな}！
もういったのかよ

連続イキ
するって…

お前^{おまえ}
雑魚マンコ
じゃねえか！





今日…カナのこ
泊まっ…てくるね

もしもし…
お…にいちちゃん？

明日には
帰るから

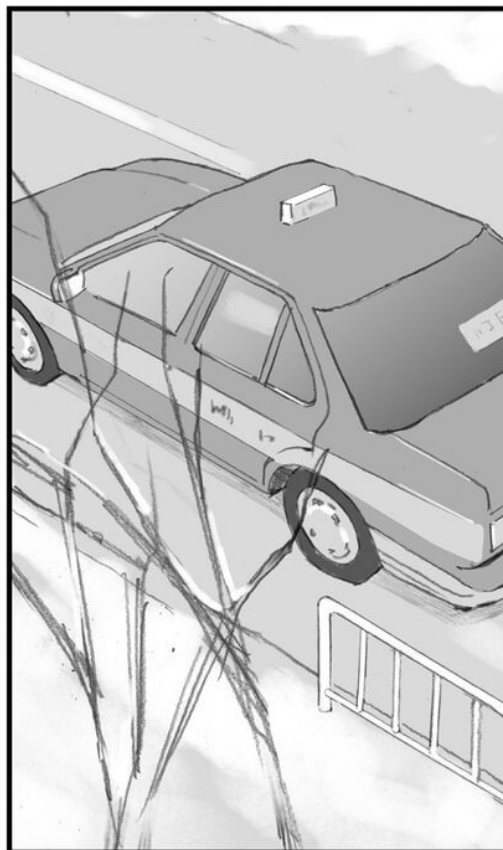
声がへん？
風邪かな…
ん…あ…
心配しないで

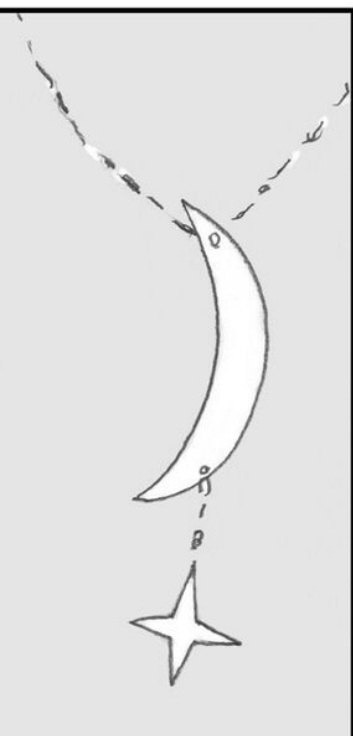
今晚は母さんは夜勤
で陽奈もいないし
一人かあ

わかった

卒業式まで
学校もないしね
ゆっくりしてきなよ

ドロッ







まさか

昨日の画像のことなんだけど
池内さんのエッチな友だちって
誰か教えて！

いや……

既読
9:23

池内さん
誰か教え

一週間後にその子と
渋谷の家で会う予定
だから青葉も来なよ
渋谷には伝えて
おくから

そんなこと
ありえない！



一週間後…この日
陽奈は出かけていた

渋沢の家に行くのは
気が進まなかったが…

どうしても確かめる
必要があった

コンボーン

あおば
青葉あがって

例の子
来てるの？

もちろん
剛輝も待って
るよ

ガチャ

この部屋だよ

？





そうはいかない
のよねえ



こんなことする
必要ないだろ

画像の子が誰か教えて
って頼んでるだけなのに



用心するほうが
いいでしょ？

へへ
あおば
青葉に用心なんて
それこそ必要ない
だろうけどな



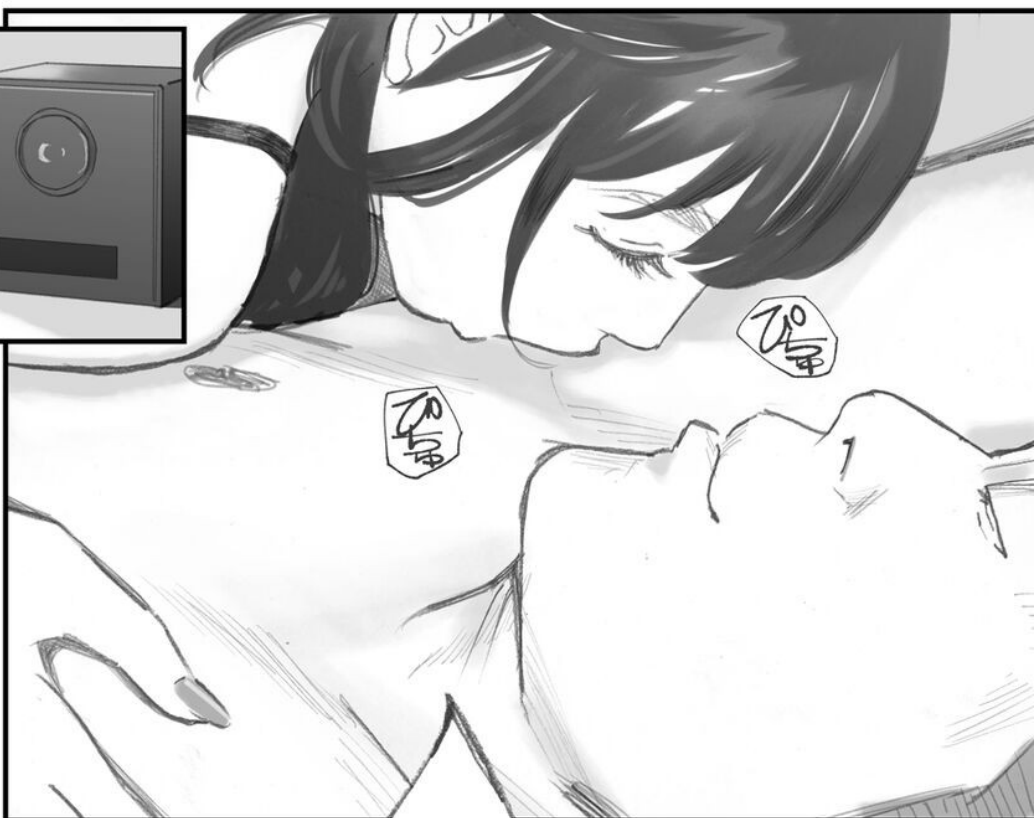
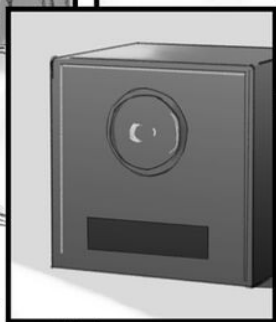
あおば
青葉の願い
かなえてあげる

さっそく…



例の子は別の
部屋にいるよ







オレを見ながら
舐めてみるよ





陽奈が渋沢に
こんなことしたがる
わけない



最近陽奈が特別に
してくれたこと
あるんじゃないのー？



もしかしたら
お兄ちゃんの
ためかもね

オレも陽奈と
やりてー

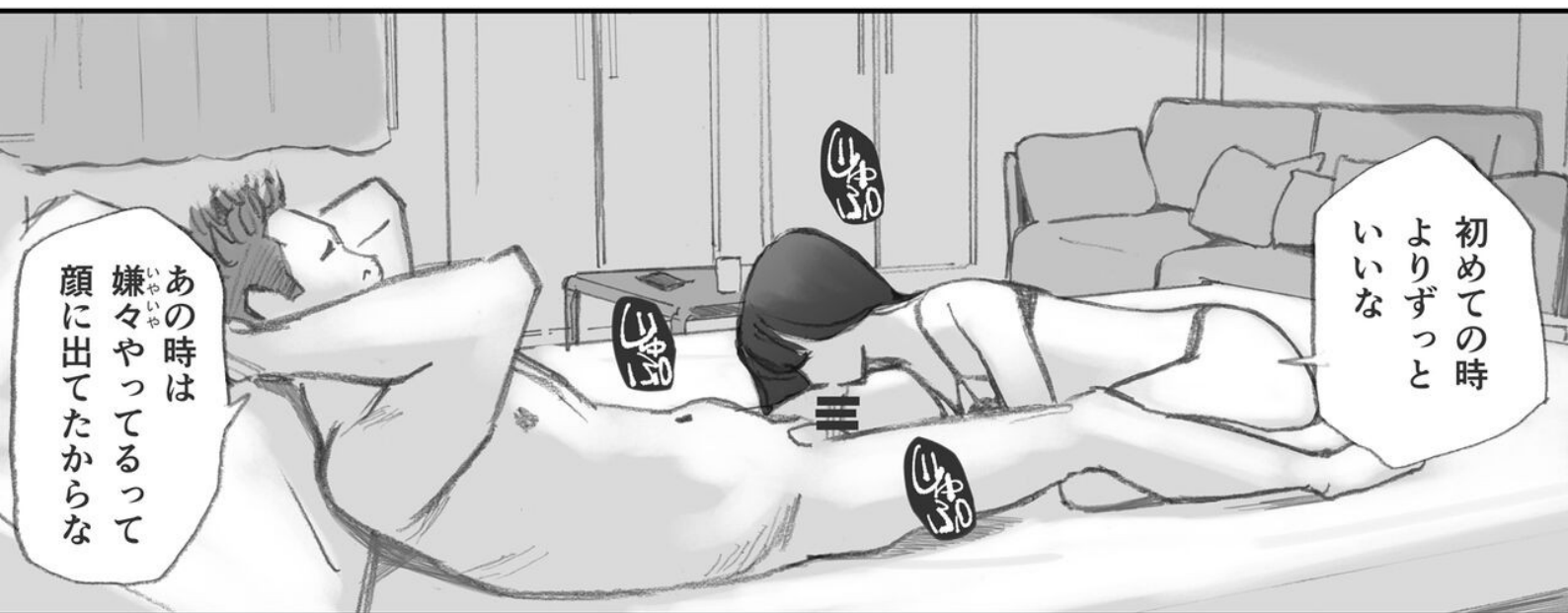
陽奈に何を
したんだ！

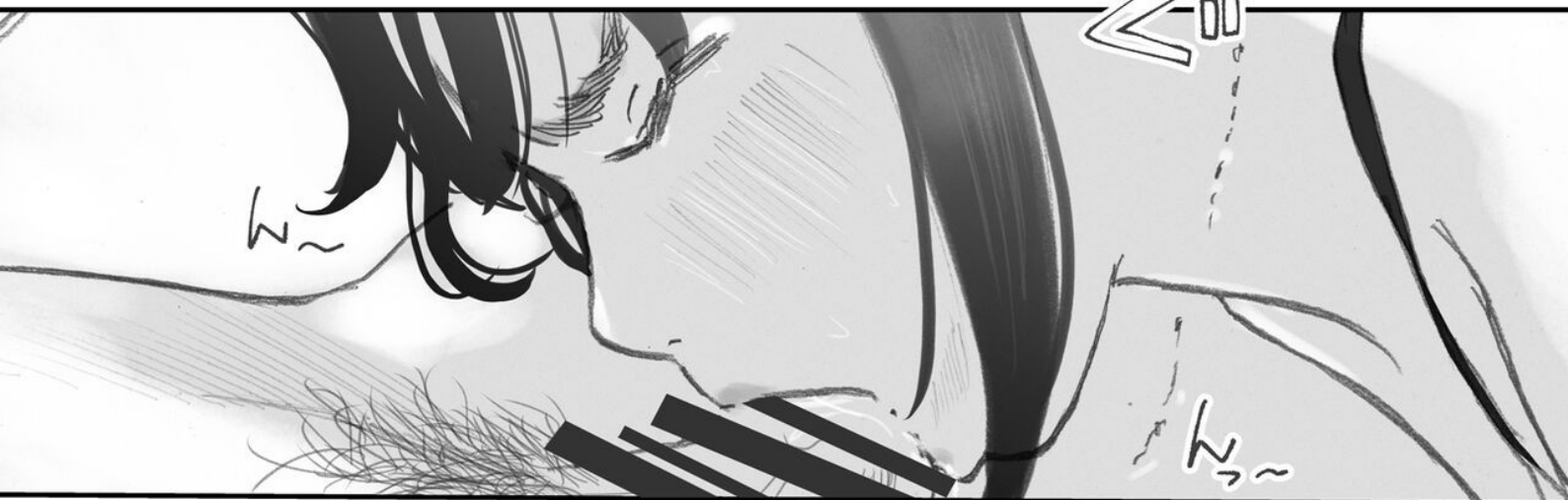


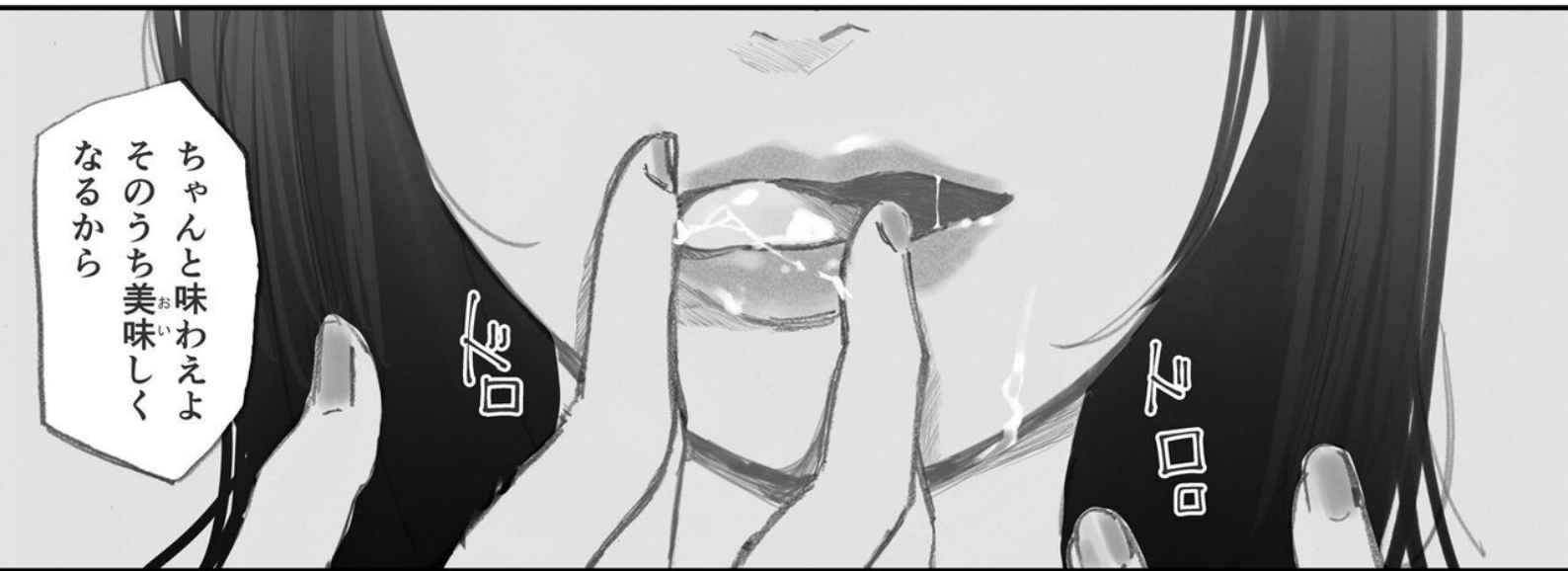
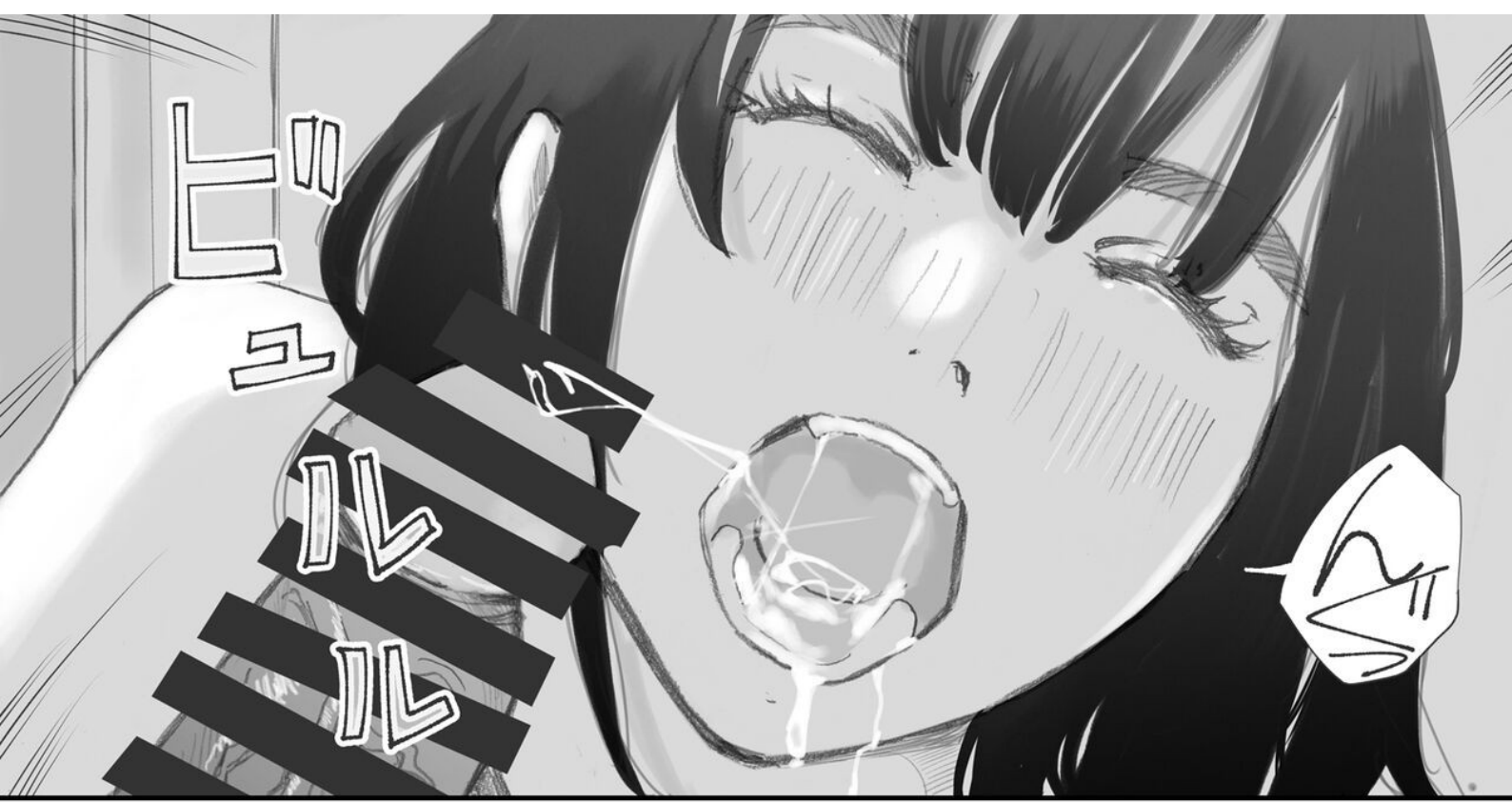
お兄ちゃん思いの
妹でよかったねえ



お兄ちゃんの入学金
なんとかなりそうだよ







ちゃんと味わえよ
そのうち美味しく
なるから



ほら飲んで

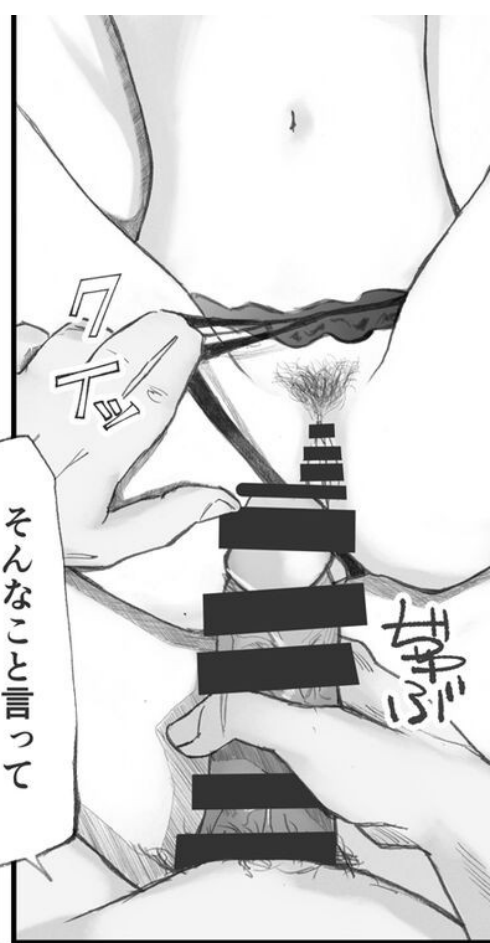
いや
美味しくはない
不思議な感じ
だけど



渋沢さん
すぎえ量

しかもまだ
勃ってるし

精液まみれの
陽奈の顔を
見れるとはな！





愛し合うのが
ほんとの男と女
ってもんだろ？



経験ない純粹な子って
こういうベタな言葉を
疑わないのよね



陽奈！
だまされるな！



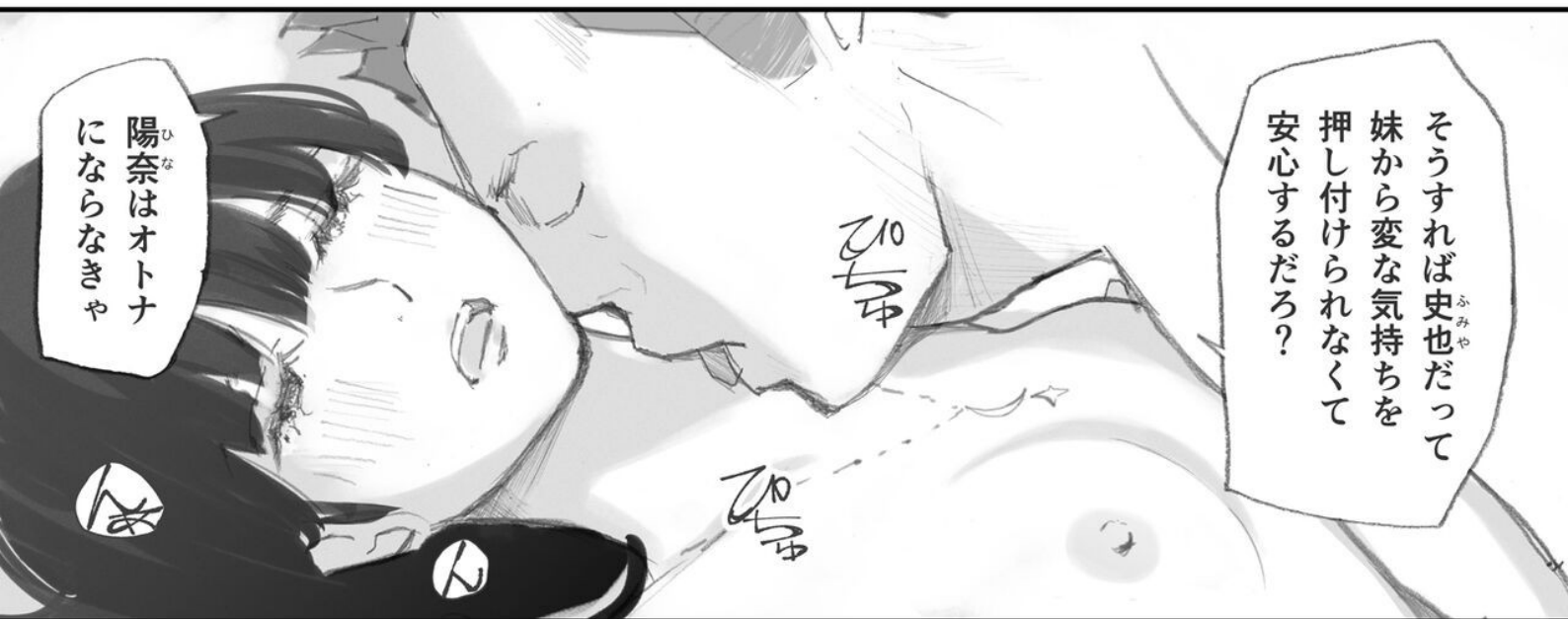
あん

あ

気持ちよく…











涙？

わたし…泣いてるの？



あれ…

涙止まらない？

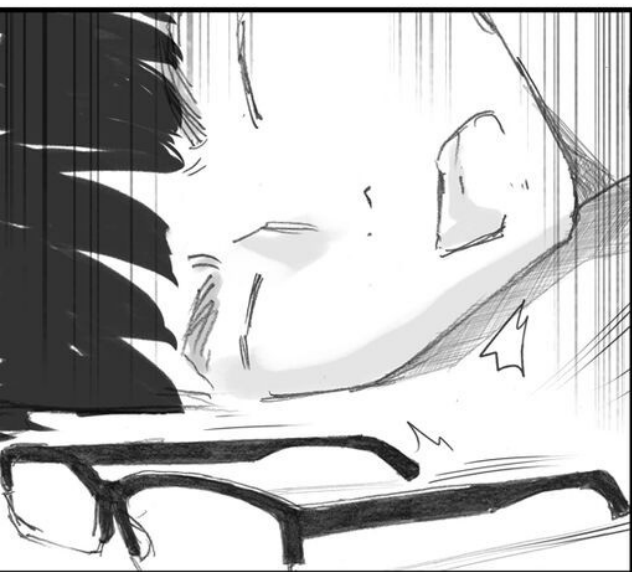


あれ…



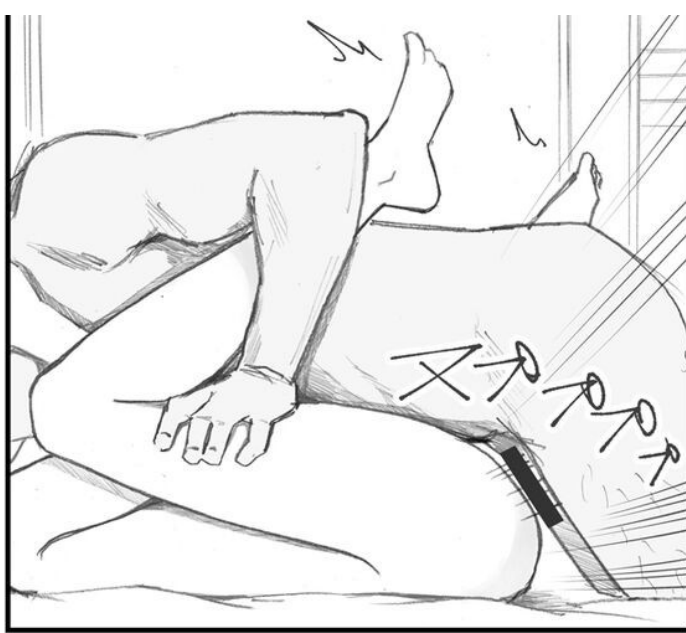




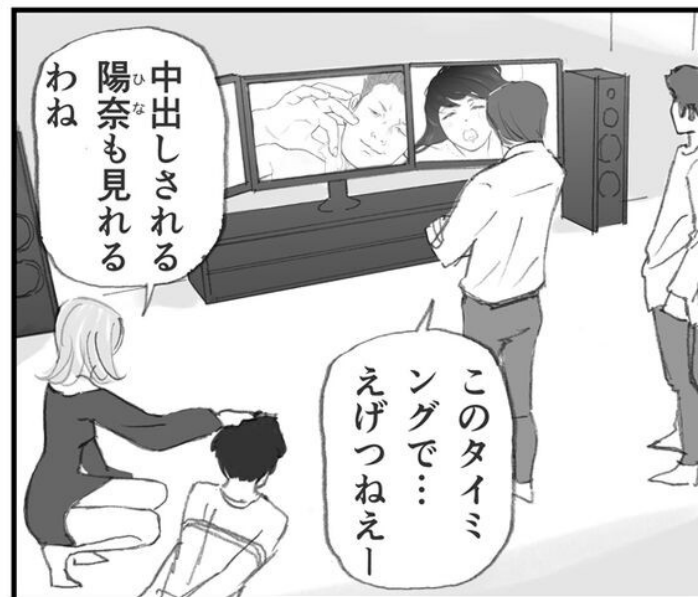












は
今日から
ひな
陽奈は…

は
しづさわ
渋谷の彼女だよ

陽奈!

ユ
オレの女として
一緒にいくぞ

うん…一緒…



コナは
じぶんの

女
びす

あゝ

い

へ

び

おまじい

こまじい

おまじい

めい

あゝ

あゝ

おまじい

あゝ

おまじい

あゝ

あゝ

あゝ



おんがへん...

おんがへん

おんがへん

おんがへん

おんがへん

おんがへん

ヒナは
しぶざわの
をんなれしゅ...



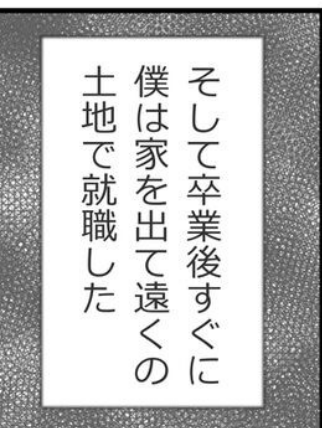
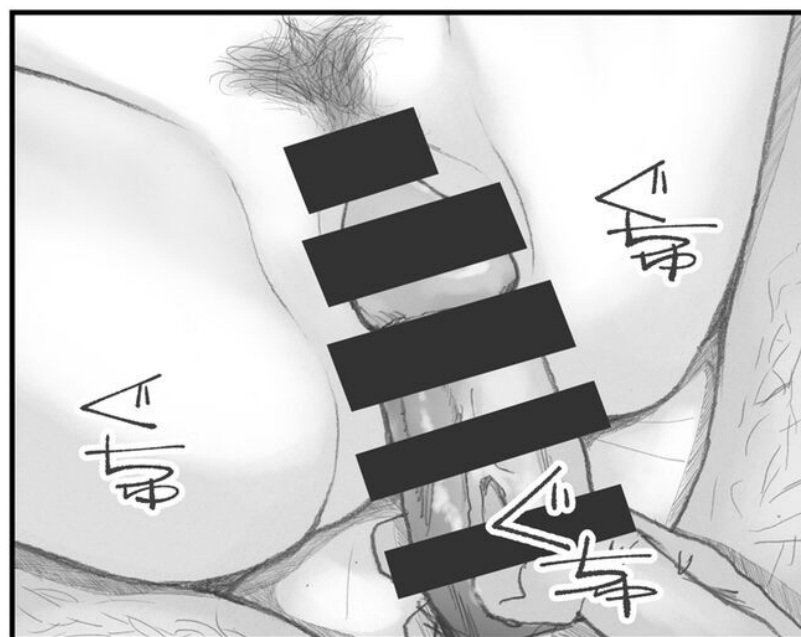
ただ…

そのあとどうやって
帰ったのか僕の記憶に
あまり残っていない



あのね…

なんか気持ち
が吹っ切れた
気がする



そして卒業後すぐに
僕は家を出て遠くの
土地で就職した



頬に当たる雪の
冷たさを…

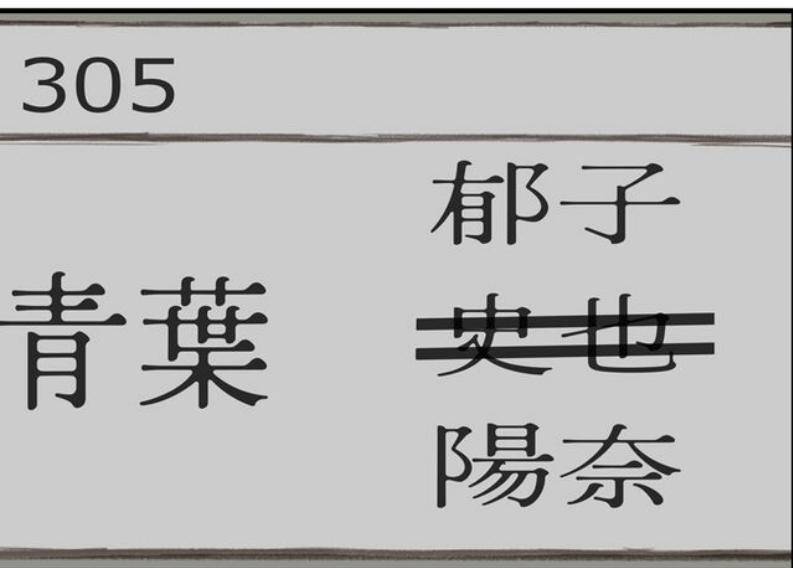
まったく感じ
なかったことだけ
を覚えている



ときおり浮かぶ
鮮明な思い出と
ともに



大切なものを失った後でも
その痕跡こんせきが消えることはなく…



はーい
どなた？

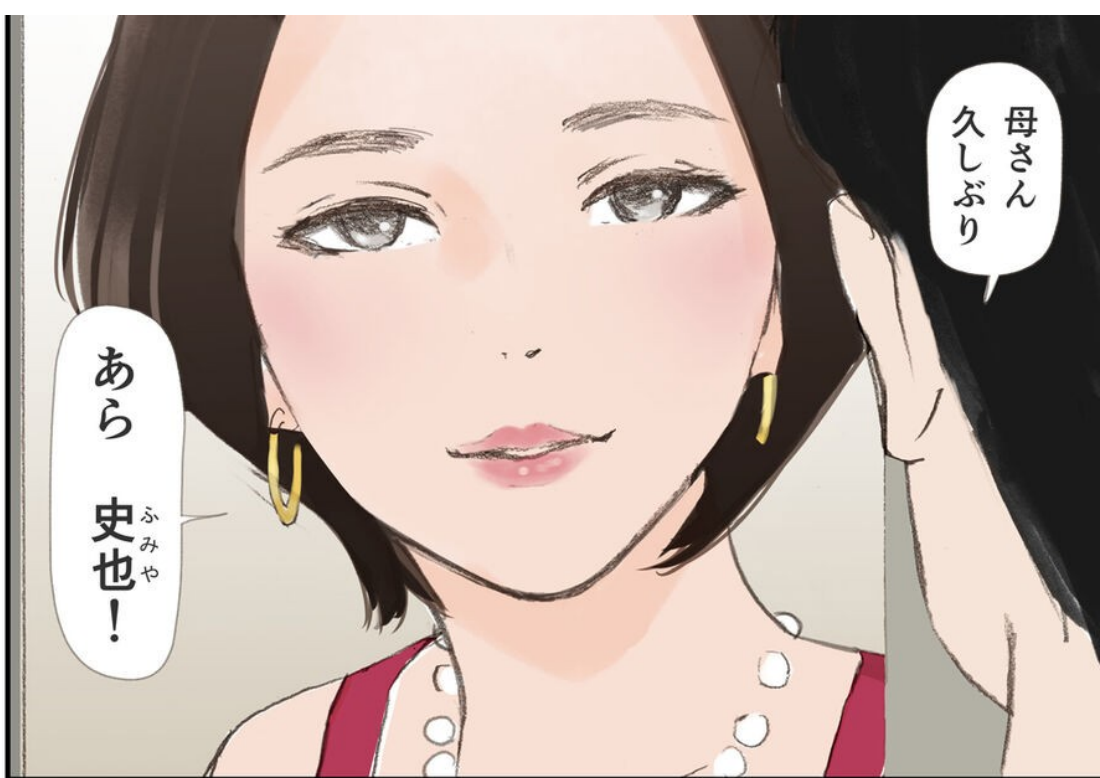
カチャ



僕たちは欠落を
抱かかえて生きていく
しかない



ピン





わたしからしても
全然返事なかったし…
心配してたんだからね！

もう！なんで今まで
ずっと連絡くれな
かったの？

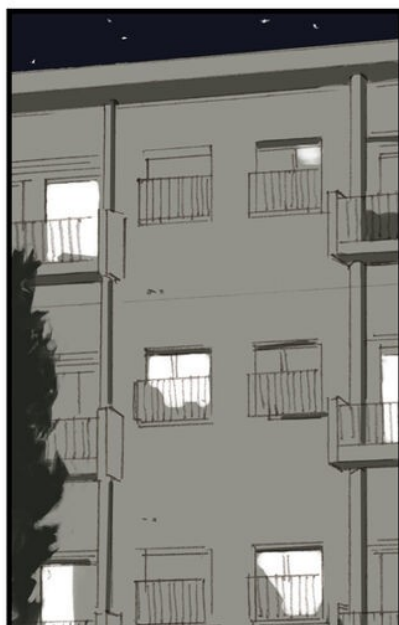
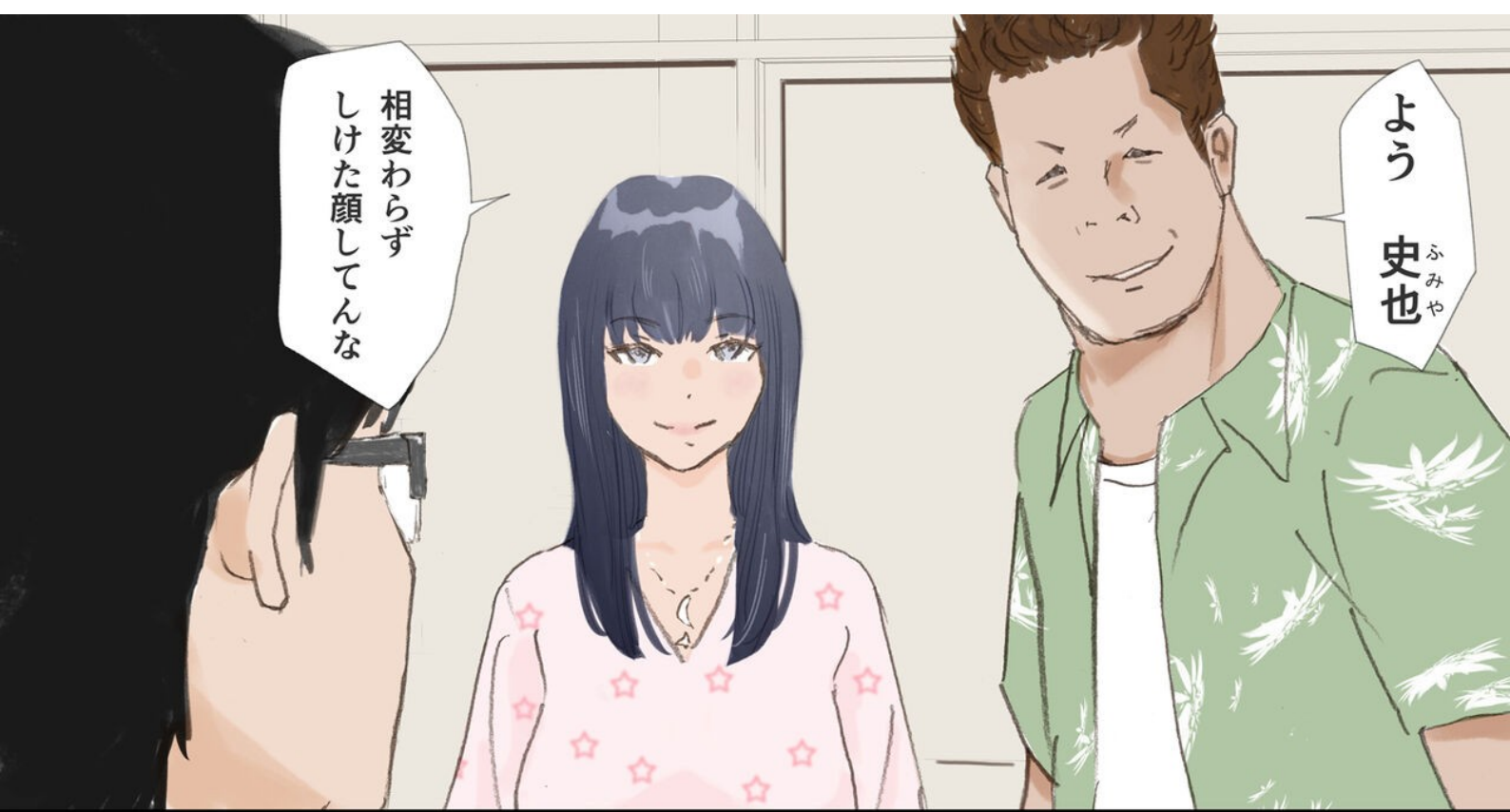
お兄ちゃん！



陽奈…



ひさし…ぶり…





入学金の全額だ
僕が知らない
内に勝手に振り
込まれていたから

でもこれで
借りは返した

お兄ちゃん…

剛輝さん
お茶どうぞ

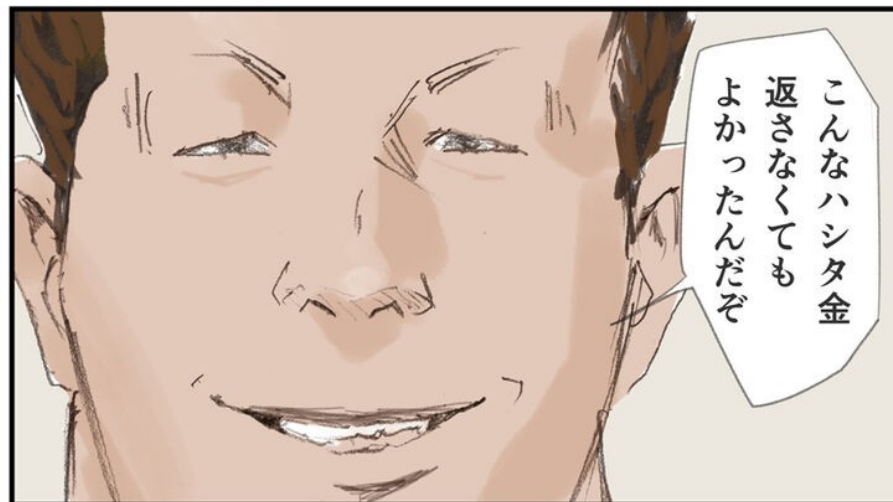
カチャ



いや返したいんだ

とにかく今日はバスも
ないし泊まってく

カッ



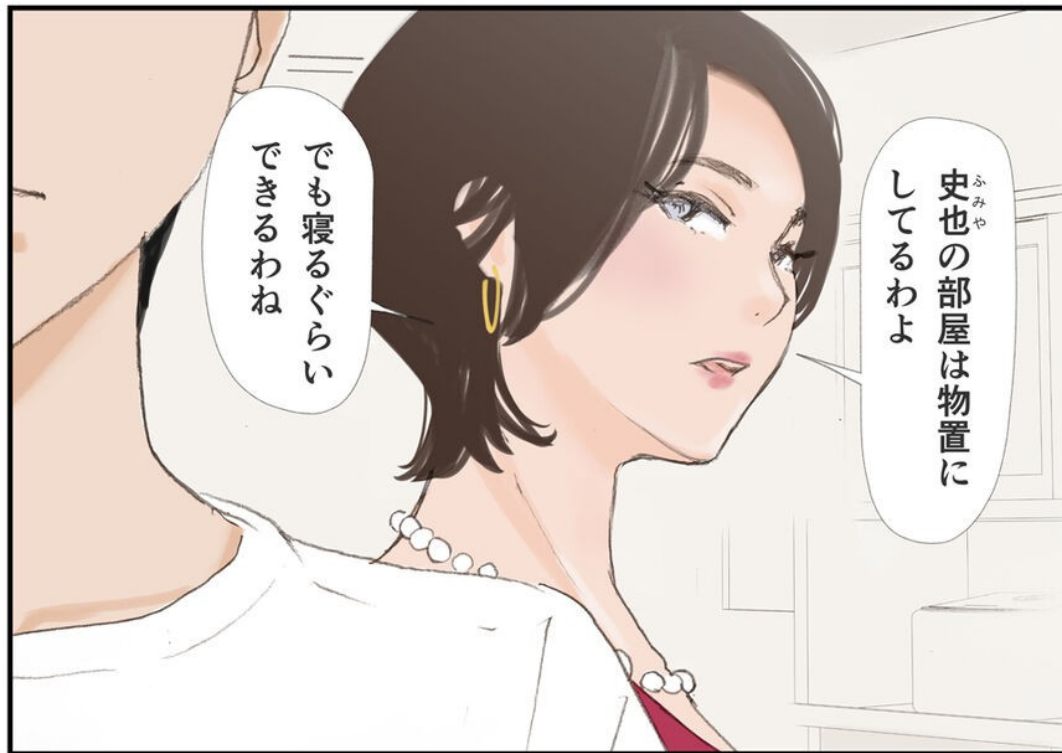
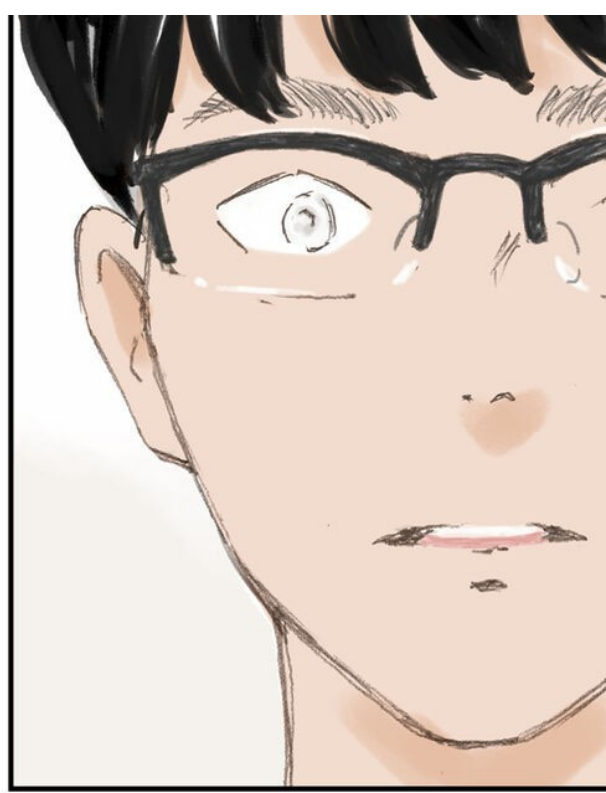
こんなハシタ金
返さなくても
よかったんだぞ



そうだよ！それに
お兄ちゃん結局
大学に行かなかった
んだし



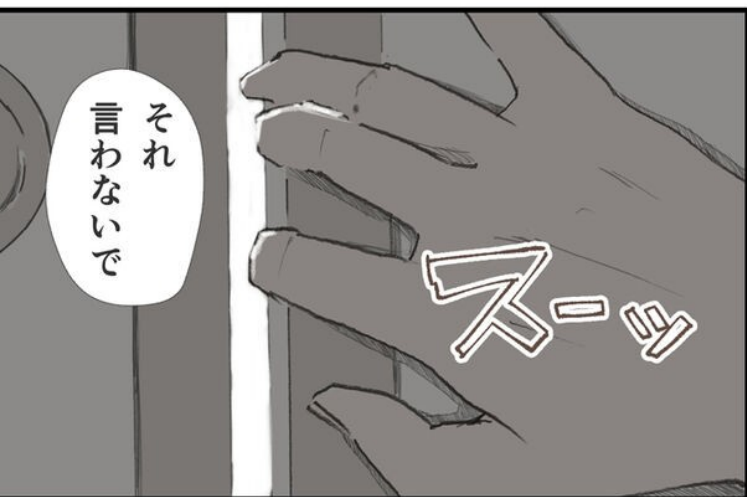
カッ





疲れ切ってる
から大丈夫だろ

あいつ建築現場で
毎日肉体労働
してんだから

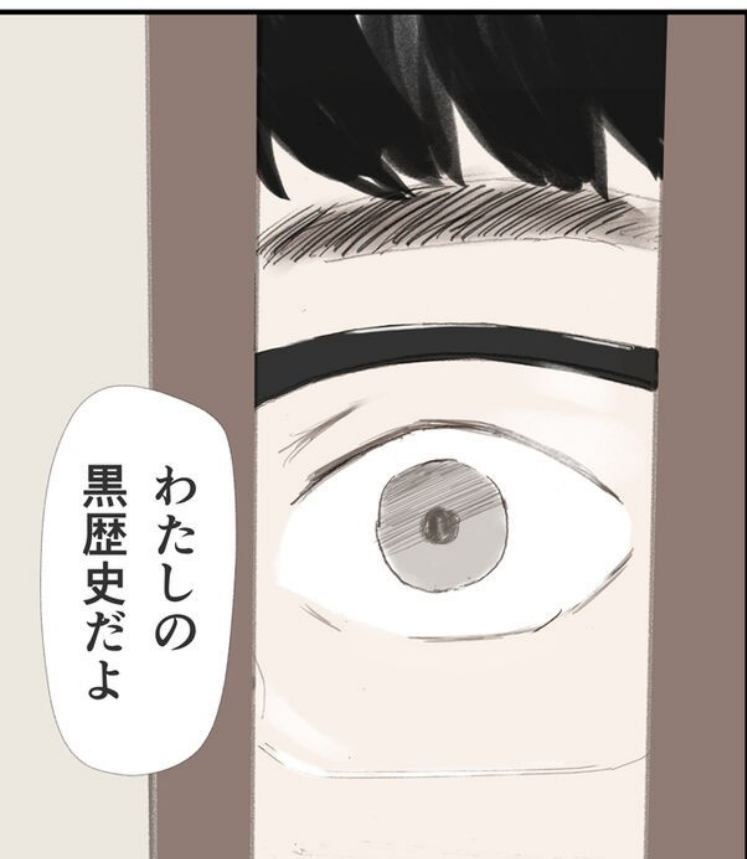


それ
言わないで

ズッ



それとも久しぶりに
史也^{ふみや}に会ってまた変な
気持ちになったのか?



わたしの
黒歴史だよ



ならないよ!

前は男として
見てただろ



お兄ちゃんはお兄ちゃんに
すぎないんだから

男としての魅力なんて
あるわけないでしょ

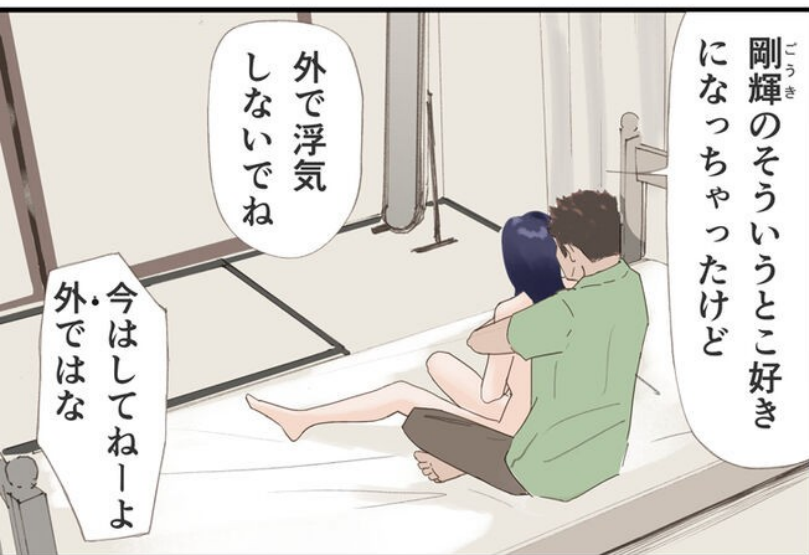
わたしがそんな風に
思ったらまたお兄ちゃんに
迷惑かけちゃう



陽奈^{ひな}はもう以前
とは違うの

確かに今じゃ淫乱な
メスになったよな

どうせもうマンコ
ひくつかせて
欲しがってるんだろ



剛輝^{こうき}のそういうところ好き
になっちゃったけど

外で浮気
しないでね

今はしてねーよ
外ではな



もう！
ほんと下品
なんだから

やっぱりお兄ちゃん
見てるかも

フスマがちよっと
開いてるの

ノゾキなんて
とんでもないな
ぶっとばしてやろうか？

剛輝^{ごうき}の気持ちは
嬉しいけど
そういうことは
よくないよ

じゃあ…

見たいなら
見せてあげたい

それにお兄ちゃん
にはいつも見守って
もらってたから…

ぬちゅ
ちゅ

ちゅ

ちゅ



うん...

優しい妹と寛大な
オレに感謝して
もらわないとな

ピン

ピン

見守りオナニー
ネタを提供して
やるんだから
当然だろ



あの時...

ぬ
30

ぬ
30

ヒク

ヒク

ヒク



陽奈^{ひな}が一番
感じるとこ

この深いとこ突くと
お前すぐヒイヒイ声
あげるよな

陽奈^{ひな}が勇気を
出してぶつけて
くれた気持ち

史也^{ふみや}のチンポが
ここまで届くと
思うか?



絶対ムリ…きつと
お兄ちゃんの
こんな大きくない



言ってよ!



どんな顔してるのか
見せてやれよ



僕がまっすぐ
受け止めていたら…

陽奈^{ひな}はただの
チンポ好き
淫乱女だろ

ノゾキ史也^{ふみや}に
教えてやれ

うん…

そして僕にとっても
陽奈^{ひな}が妹以上の存在
だと伝えていたら…

陽奈^{ひな}はインランなの
剛輝^{こうき}のおチンポ大好き





答

んあ

ズン

アル

ゼン

ぜんぜん
しあわせだよ

ぜんぜん
しあわせだよ

ハッ

ハッ

ッ

ビクン

ヒガン



はら
孕んでいても
締め付け最高だぞ

ほおっ

おほっ

いぐうっ

おほい

うっ

うっ

うっ



すぐもらす
雑魚マンコっぷり
は変わんねえけど

いっ

いっ

んっ

近くにいろくせに
この感触を味わえない
奴は哀れだなハハ

オニッ

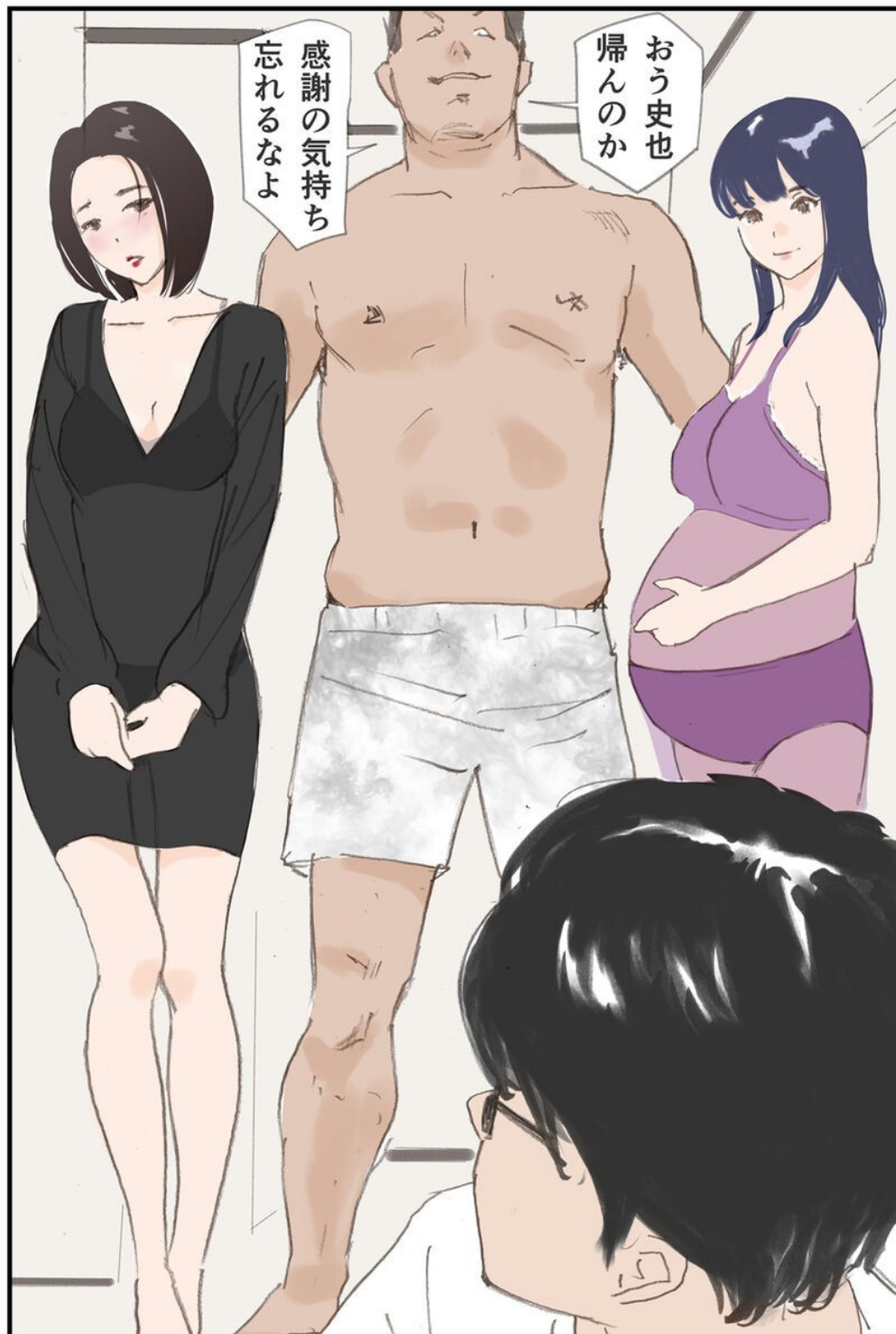
70%

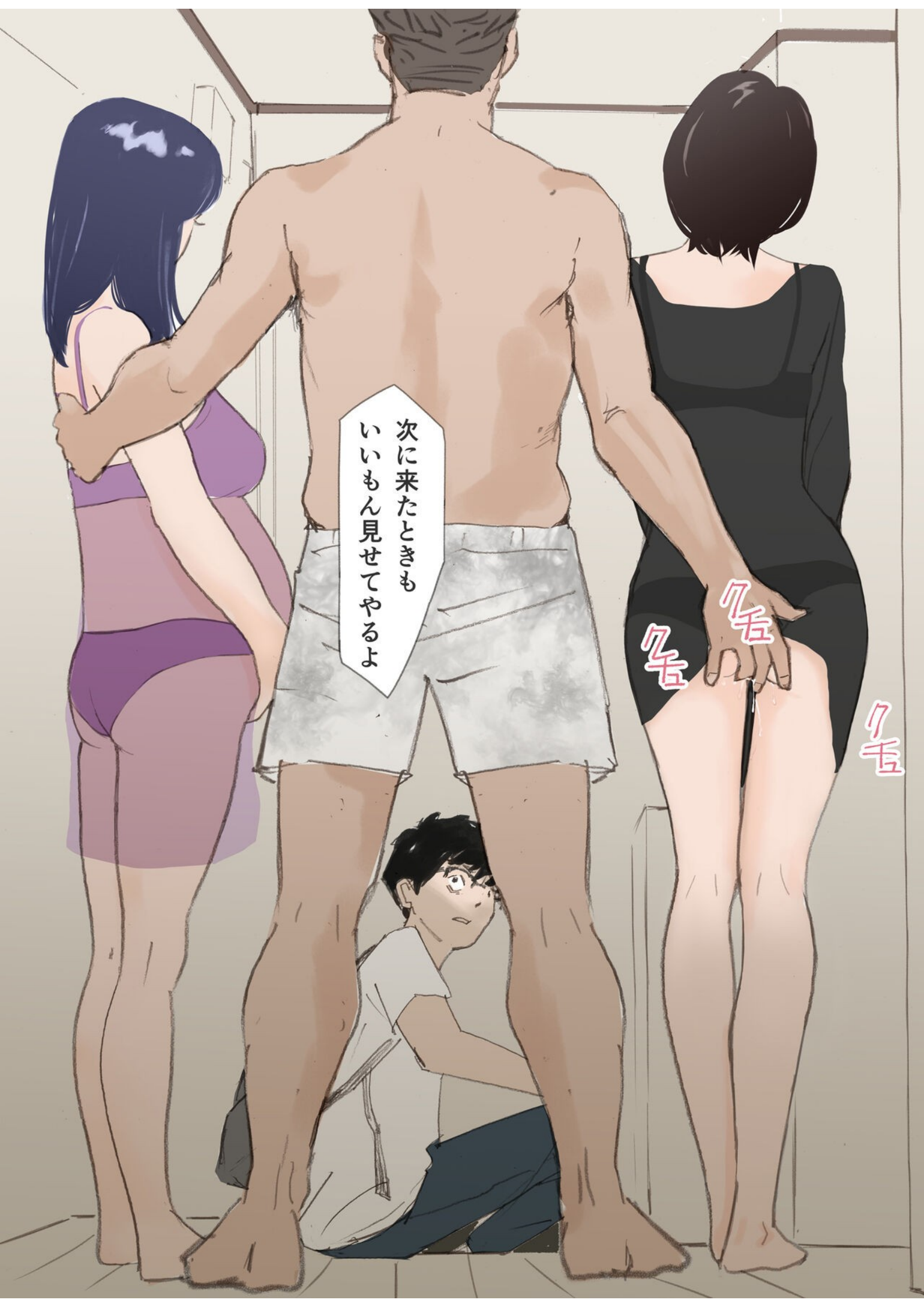
キャ

マ

しゅっ♡







次に来たときも
いいもん見せてやるよ

クモ
クモ
クモ



あとがき

このたびは「破断の絆」をお買い上げ頂きありがとうございます。
読者の皆様に楽しんで頂ければ作者として嬉しい限りです。

いくぶんでもストーリー性のあるものを描きたいと願いつつ本作品
を描いたのですが、あらためて漫画を描く難しさと楽しさを知った
作品でもありました。

今後も非エロのストーリー部分をちりばめながら寝取られや寝取らせ
の作品を描いてく予定です。

次回作は策士のおじさんに堕とされそうになる若い人妻…という
内容で案を練っています。お楽しみに！

評価やコメントを頂けると大変嬉しいです。

猫目 恋

X(旧twitter)
<https://x.com/x3w3h>

pixiv
<https://www.pixiv.net/users/82059662>